

医療用製剤, 歯科用製剤又は化粧品用製剤 (薬物を特定の物理的または投与形態に変化させるのに特に適合した装置または方法 A61J3/00; 空気の脱臭用品, 殺菌または消毒用品, あるいは包帯, 被覆用品, 吸収性パッド, または手術用品のための物質の使用又は化学的事項 A61L; 石鹸の組成 C11D)

注

(1) このサブクラスは, その組成物 (混合物) としての表現であれ, 組成物の製法としての表現であれ, または組成物を用いる治療方法としての表現であれ, 次の主題を包含する。

(a) 以下のことが可能な医薬又は生物学的組成物:

— 寄生有機体を破壊するような手段によって生体の異常または病的状態を予防し, 軽減し, 処置しまたは治癒させるか, あるいは宿主また寄生体の生理状態を化学的に変化させることによって疾病あるいは異常の程度を制限すること (殺生物剤 A01N25/00-A01N65/00);

— 生理的身体機能を維持, 増加, 減少, 制限, または破壊すること, 例. ビタミン組成物, 不妊剤, 生殖阻害剤, 生長促進剤など (無脊椎動物, 例. 昆虫, の不妊剤 A01N; 植物生長調節剤 A01N25/00-A01N65/00);

— 生体内試験によって生理学的状態を診断すること, 例. X 線造影剤, スキンパッチテスト組成物 (酵素または微生物を含む測定または試験方法 C12Q, 生物学的物質, 例. 血液, 尿, の生体外テスト G01N, 例. G01N33/48);

(b) 一般に人体を防臭, 保護, 美化あるいは清潔にするための人体処置組成物, 例. 化粧品, 歯磨き, 歯の充填剤

(2) C セクションのタイトルの後の化学元素のグループの定義に注意すること

(3) クラス C07 の注に注意する。例えば, サブクラス C07D のタイトルに続く注は, 当該クラスにおける有機化合物の分類に適用される規則を前もって規定するが, 他の指示がなければ, A61K における有機化合物分類にも適用される。

(4) このサブクラスでは, グループ A61K8/00 を除き, ラストブレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り最後の適切な箇所に分類する。

(5) 医薬製剤の治療活性については, さらにサブクラス A61P にも分類する。

サブクラス内の索引

歯科用製剤 6/00.....
化粧品, 化粧品用製剤 8/00.....
医療用製剤.....
形状に特徴があるもの 9/00.....
成分に特徴があるもの.....
有機活性成分 31/00, 38/00.....
無機活性成分 33/00.....
動物, 原生生物, バクテリアまたはウイルスからの構造未知の物質 35/00.....
藻類, 菌類, 地衣類, または植物からの構造未知の物質 36/00
抗原または抗体を含有するもの 39/00.....
波動エネルギーまたは粒子線で物質を処理することにより得られるもの, 放射性物質を含有するもの 41/00, 51/00.....
他の活性成分 45/00.....

不活性成分 47/00.....

遺伝子物質を含有する医療用製剤, 遺伝子治療 48/00.....

生体内での検査のためのもの 49/00, 50/00, 51/00.....

6/00 歯科用製剤[2020. 01]

6/15 ・それらの物理的特性に特徴のある組成物[2020. 01]

6/16 ・屈折率[2020. 01]

6/17 ・粒子径[2020. 01]

6/18 ・歯科退縮を引き起こすもの, 例. 歯科用押印作製または抜歯のための歯肉溝拡張用の組成物[2020. 01]

6/19 ・自己膨張, 例. 歯の充填のための[2020. 01]

6/20 ・自然歯または人工歯のための保護被覆, 例. 密封, 染料被覆またはワニス[2020. 01]

6/25 ・検出または測定のための組成物, 例. 自然歯または人工歯の異常[2020. 01]

6/30 ・一時的にまたは永久的に歯または口蓋を固定するための組成物, 例. 歯科用接着剤用プライマー[2020. 01]

6/35 ・口内の義歯を安定させるための製剤[2020. 01]

6/40 ・プライマー (歯科用接着剤用のもの A61K6/30) [2020. 01]

6/50 ・歯根処理に特に適合した製剤[2020. 01]

6/52 ・洗浄; 殺菌[2020. 01]

6/54 ・充填; 密封[2020. 01]

6/56 ・根尖治療[2020. 01]

6/58 ・歯科インプラントに特に適合したもの[2020. 01]

6/60 ・有機または有機金属添加物を含むもの[2020. 01]

6/61 ・陽イオン性, 陰イオン性または酸化還元開始剤[2020. 01]

6/62 ・光化学ラジカル開始剤[2020. 01]

6/64 ・熱ラジカル開始剤[2020. 01]

6/65 ・染料[2020. 01]

6/66 ・フォトリソミック染料[2020. 01]

6/68 ・サーモクロミック染料[2020. 01]

6/69 ・医薬品[2020. 01]

6/70 ・無機添加物を含むもの[2020. 01]

6/71 ・充填剤[2020. 01]

6/72 ・窒素含有化合物を含むもの[2020. 01]

6/73 ・硫黄含有化合物を含むもの[2020. 01]

6/74 ・リン含有化合物を含むもの[2020. 01]

6/75 ・アパタイト[2020. 01]

6/76 ・ケイ素含有化合物を含むもの[2020. 01]

6/77 ・ガラス[2020. 01]

6/78 ・顔料[2020. 01]

6/79 ・開始剤[2020. 01]

6/80 ・人工歯, 充填歯または被覆歯のための製剤[2020. 01]

A 6 1 K

6/802 ・セラミックスを含むもの[2020.01]
 6/804 ・酸化マンガンを含むもの[2020.01]
 6/807 ・酸化マグネシウムを含むもの[2020.01]
 6/809 ・酸化ベリリウムを含むもの[2020.01]
 6/811 ・酸化クロムを含むもの[2020.01]
 6/813 ・酸化鉄を含むもの[2020.01]
 6/816 ・酸化チタンを含むもの[2020.01]
 6/818 ・酸化ジルコニウムを含むもの[2020.01]
 6/82 ・酸化ハフニウムを含むもの[2020.01]
 6/822 ・希土類金属酸化物を含むもの[2020.01]
 6/824 ・遷移金属酸化物を含むもの[2020.01]
 6/827 ・白榴石[2020.01]
 6/829 ・サーメット複合物を含むもの[2020.01]
 6/831 ・非金属元素またはそれらの化合物を含むもの, 例. 炭素[2020.01]
 6/833 ・ガラス-セラミック複合物[2020.01]
 6/836 ・ガラス[2020.01]
 6/838 ・燐化合物, 例. アパタイト[2020.01]
 6/84 ・金属または合金を含むもの[2020.01]
 6/842 ・希土類金属[2020.01]
 6/844 ・貴金属[2020.01]
 6/847 ・アマルガム[2020.01]
 6/849 ・無機セメントを含むもの[2020.01]
 6/851 ・ポルトランドセメント[2020.01]
 6/853 ・ケイ酸塩[2020.01]
 6/856 ・ボゾラン[2020.01]
 6/858 ・硫酸カルシウム, 例. 石こう[2020.01]
 6/86 ・Al-セメント[2020.01]
 6/862 ・Ca-Al-硫酸セメント[2020.01]
 6/864 ・燐酸セメント (アパタイト A61K6/838)[2020.01]
 6/867 ・アンモニウムセメント[2020.01]
 6/869 ・ゼオライト[2020.01]
 6/871 ・石英; SiO₂[2020.01]
 6/873 ・炭酸塩[2020.01]
 6/876 ・酸化カルシウム[2020.01]
 6/878 ・酸化ジルコニウム[2020.01]
 6/88 ・酸化クロム[2020.01]
 6/882 ・炭化物[2020.01]
 6/884 ・天然または合成樹脂を含むもの[2020.01]
 6/887 ・炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる化合物[2020.01]
 6/889 ・ポリカルボン酸セメント; グラスアイオノマーセメント[2020.01]
 6/891 ・炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる化合物[2020.01]
 6/893 ・ポリウレタン[2020.01]
 6/896 ・ポリオルガノシリコン化合物[2020.01]

6/898 ・多糖類[2020.01]
 6/90 ・歯科用押印採取のための組成物[2020.01]
 8/00 化粧品あるいは類似化粧品製剤[2006.01]

注

化粧品または類似化粧品製剤の使用は, サブクラス A61Q にも分類する。

8/02 ・特別な物理的形態に特徴があるもの[8]

注

・このグループにおいては, ラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がないときは, 最後の適切な箇所に分類する。[8]

8/03 ・2 またはそれ以上の異なる層を有する液状組成物[8]

8/04 ・分散, 乳化[8]

8/06 ・乳化[8]

8/11 ・カプセル化された組成物[8]

8/14 ・リボソーム[8]

8/18 ・組成に特徴があるもの[8]

注

・このグループにおいては, ラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がないときは, 最後の適切な箇所に分類する。[8]

8/19 ・無機配合成分を含むもの[8]

8/20 ・ハロゲン; その化合物[8]

8/21 ・ふっ化物; その誘導体[8]

8/22 ・過酸化物質; 酸素; オゾン[8]

8/23 ・硫黄; セレン; テルル; その化合物[8]

8/24 ・リン; その化合物[8]

8/25 ・シリコン; その化合物[8]

8/26 ・アルミニウム; その化合物[8]

8/27 ・亜鉛; その化合物[8]

8/28 ・ジルコニウム; その化合物[8]

8/29 ・チタン; その化合物[8]

8/30 ・有機化合物を含むもの[8]

8/31 ・炭化水素[8]

8/33 ・酸素を含むもの[8]

8/34 ・アルコール[8]

8/35 ・ケトン, 例. キノン, ベンゾフェノン[8]

8/36 ・カルボン酸; その塩または無水物[8]

8/362 ・ポリカルボン酸[8]

8/365 ・ヒドロキシカルボン酸; ケトカルボン酸[8]

8/368 ・芳香族環の炭素原子に直接結合したカルボン基を有するもの[8]

8/37 ・カルボン酸エステル[8]

8/38 ・過酸化物質, 例. 過酸[8]

8/39 ・2 から 10 のオキシアルキレン基を含む誘導体[8]

8/40 ・窒素を含むもの (窒素を含むキノン A61K8/35) [8]

8/41 ・アミン[8]

8/42 ・アミド[8]

| | | | |
|---|---|--------|--|
| 8/43 | ・ ・ ・ ・ グアニジン[8] | 8/895 | ・ ・ ・ ・ ・ 不飽和の脂肪族基に結合したシリコンを含むもの, 例. ビニルジメチコン[8] |
| 8/44 | ・ ・ ・ ・ アミノカルボン酸またはその誘導体, 例. 硫黄を含むアミノカルボン酸;塩, エステルまたはその N アシル化誘導体[8] | 8/896 | ・ ・ ・ ・ ・ シリコン, 炭素, 酸素および水素以外の原子を含むもの, 例. リン酸ジメチコンコポリオール[8] |
| 8/45 | ・ ・ ・ ・ 2 から 10 のオキシアルキレン基を含む誘導体[8] | 8/897 | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンを含むもの, 例. フルオロシリコン[8] |
| 8/46 | ・ ・ ・ 硫黄を含むもの (A61K8/44 が優先)[8] | 8/898 | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素を含むもの, 例. アモジメチコン, トリメチルシリルアモジメチコン又はジメチコンプロピル PG ベタイン[8] |
| 8/49 | ・ ・ ・ 複素環式化合物を含むもの[8] | 8/899 | ・ ・ ・ ・ ・ 硫黄を含むもの, 例. PG プロピルジメチコンチオ硫酸 Na コポリオール[8] |
| 8/55 | ・ ・ ・ りんを含むもの[8] | 8/90 | ・ ・ ・ ブロック共重合体 (A61K8/89 が優先)[8] |
| 8/58 | ・ ・ ・ 炭素, 水素, ハロゲン, 酸素, 窒素, 硫黄またはりん以外の原子を含むもの[8] | 8/91 | ・ ・ ・ グラフト共重合体 (A61K8/89 が優先)[8] |
| 8/60 | ・ ・ ・ 糖類;その誘導体[8] | 8/92 | ・ ・ 油, 脂肪またはろう;その誘導体, 例. 水素化物[8] |
| 8/63 | ・ ・ ・ ステロイド;その誘導体[8] | 8/96 | ・ ・ 構造不明の物質またはその誘導体を含むもの[8] |
| 注 | | | |
| ・ ・ ・ このグループには, サブクラス C07J のタイトルに続く注 (1) で定義されているステロイドが含まれる。[8] | | | |
| 8/64 | ・ ・ ・ 蛋白質;ペプチド;その誘導体または分解生成物[8] | 8/97 | ・ ・ ・ 藻類, 菌類, 地衣類または植物由来のもの;それらの派生物由来のもの [2017. 01] |
| 8/65 | ・ ・ ・ ・ コラーゲン;ゼラチン;ケラチン;その誘導体または分解生成物[8] | 8/9706 | ・ ・ ・ ・ 藻類[2017. 01] |
| 8/66 | ・ ・ ・ ・ 酵素[8] | 8/9711 | ・ ・ ・ ・ ・ 褐藻植物[褐藻類], 例. ヒバマタ [2017. 01] |
| 8/67 | ・ ・ ・ ・ ビタミン[8] | 8/9717 | ・ ・ ・ ・ ・ 紅藻植物[紅藻類], 例. ノリ [2017. 01] |
| 8/68 | ・ ・ ・ スフィンゴリピド, 例. セラミド, セレブロシド, ガングリオシド[8] | 8/9722 | ・ ・ ・ ・ ・ 緑藻植物[緑藻類], 例. クロレラ [2017. 01] |
| 8/69 | ・ ・ ・ フッ素を含むもの[8] | 8/9728 | ・ ・ ・ ・ 菌類, 例. 酵母[2017. 01] |
| 8/70 | ・ ・ ・ ・ パーフルオロ基を含むもの, 例. パーフルオロエーテル[8] | 8/9733 | ・ ・ ・ ・ 地衣類[2017. 01] |
| 8/72 | ・ ・ 有機高分子化合物を含むもの[8] | 8/9739 | ・ ・ ・ ・ コケ植物門[コケ類][2017. 01] |
| 8/73 | ・ ・ ・ 多糖類[8] | 8/9741 | ・ ・ ・ ・ シダ植物門[シダ類][2017. 01] |
| 8/81 | ・ ・ ・ 炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られるもの[8] | 8/9749 | ・ ・ ・ ・ ・ シダ綱[2017. 01] |
| 8/84 | ・ ・ ・ 炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られるもの[8] | 8/9755 | ・ ・ ・ ・ 裸子植物門[球果植物門][2017. 01] |
| 8/85 | ・ ・ ・ ・ ポリエステル[8] | 8/9761 | ・ ・ ・ ・ ・ ヒノキ科[イトスギ科], 例. ビャクシンまたはイトスギ[2017. 01] |
| 8/86 | ・ ・ ・ ・ ポリエーテル[8] | 8/9767 | ・ ・ ・ ・ ・ マツ科, 例. マツまたはヒマラヤスギ[2017. 01] |
| 8/87 | ・ ・ ・ ・ ポリウレタン[8] | 8/9771 | ・ ・ ・ ・ イチョウ門, 例. イチョウ科[2017. 01] |
| 8/88 | ・ ・ ・ ・ ポリアミド[8] | 8/9778 | ・ ・ ・ ・ マオウ門, 例. マオウ科[モルモンテイー科][2017. 01] |
| 8/89 | ・ ・ ・ ・ ポリシロキサン[8] | 8/9783 | ・ ・ ・ ・ 被子植物門[2017. 01] |
| 8/891 | ・ ・ ・ ・ ・ 飽和状態にあるもの, 例. ジメチコン, フェニルトリメチコン, C24-C28 メチコン又はステアシル・ジメチコン[8] | 8/9789 | ・ ・ ・ ・ ・ モクレン綱[双子葉植物][2017. 01] |
| 8/892 | ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシ基により修飾されているもの, 例. ジメチコノール[8] | 8/9794 | ・ ・ ・ ・ ・ ユリ綱[単子葉植物][2017. 01] |
| 8/893 | ・ ・ ・ ・ ・ アルコキシ又はアリルオキシ基により修飾されているもの, 例. ベヘノキシジメチコン又はステアロキシジメチコン[8] | 8/98 | ・ ・ ・ 動物由来のもの[8] |
| 8/894 | ・ ・ ・ ・ ・ ポリオキシアルキレン基により修飾されているもの, 例. セチルジメチコンコポリオール[8] | 8/99 | ・ ・ ・ 藻類または菌類以外の微生物由来のもの, 例. 原生動物またはバクテリア [2017. 01] |
| | | 9/00 | 特別な物理的形態によって特徴づけられた |

| | |
|-------|---|
| | 医薬品の製剤 |
| 9/02 | ・座剤;ブジー;座剤またはブジー用基剤(製造装置 A61J3/08;体内に導入するための器具 A61M31/00) |
| 9/06 | ・軟膏;軟膏基剤(製造装置 A61J3/04) |
| 9/08 | ・溶液剤[2, 3] |
| 9/10 | ・分散剤;乳剤[2, 3] |
| 9/107 | ・・エマルジョン[5] |
| 9/113 | ・・・複合エマルジョン, 例. 油/水/油[5] |
| 9/12 | ・・エアゾール;泡沫剤[2, 3] |
| 9/127 | ・・リポゾーム[5] |
| 9/133 | ・・・単一ラメラ構造[5] |
| 9/14 | ・粒状剤, 例. 散剤(マイクロカプセル A61K9/50)[2] |
| 9/16 | ・・塊状剤;顆粒剤;マイクロビーズレット[2] |
| 9/18 | ・・吸着剤[2] |
| 9/19 | ・・凍結乾燥によるもの[6] |
| 9/20 | ・丸剤, ひし形剤または錠剤[2] |
| 9/22 | ・・持続または徐放型のもの[2] |
| 9/24 | ・・・層状または薄片状の単一投与形体[2] |
| 9/26 | ・・・支持体中に別個の粒子を有するもの[2] |
| 9/28 | ・・糖衣錠;被覆された丸剤または錠剤[2] |
| 9/30 | ・・・有機被覆剤[2] |
| 9/32 | ・・・・固体合成ポリマーを含有するもの[2] |
| 9/34 | ・・・・天然ゴムまたは樹脂を含有するもの[2] |
| 9/36 | ・・・・炭水化物またはその誘導体を含有するもの(A61K9/34が優先)[2] |
| 9/38 | ・・・・蛋白質またはその誘導体を含有するもの[2] |
| 9/40 | ・・・・ゼラチン含有のもの[2] |
| 9/42 | ・・・・ろう, 高級脂肪酸, 高級脂肪アルコールまたはそれらの誘導体, 例. チョコレート, を含有するもの[2] |
| 9/44 | ・・印刷された, 浮彫りのある, みぞ付きのまたは穴のあいたもの[2] |
| 9/46 | ・・起泡性のもの[2] |
| 9/48 | ・カプセル製剤, 例. ゼラチン製のもの, チョコレート製のもの[2] |
| 9/50 | ・・マイクロカプセル(A61K9/52が優先)[2] |
| 9/51 | ・・・ナノカプセル[5] |
| 9/52 | ・・持続または徐放型のもの[2] |
| 9/54 | ・・・異なる厚さまたは異なる物質で被覆された粒子を種々含有するもの[2] |
| 9/56 | ・・・・有機被覆剤[2] |
| 9/58 | ・・・・・固体合成ポリマーを含有するもの[2] |
| 9/60 | ・・・・・天然ゴムまたは樹脂を含有するもの[2] |

| | |
|------|---|
| 9/62 | ・・・・炭水化物またはその誘導体を含有するもの(A61K9/60が優先)[2] |
| 9/64 | ・・・・蛋白質またはその誘導体を含有するもの[2] |
| 9/66 | ・・・乳剤, 分散剤または溶液剤を含有するもの[2] |
| 9/68 | ・チュウイングガム型[2] |
| 9/70 | ・布, シートまたは繊維基材[2] |
| 401 | ・・外皮用貼付剤 |
| 405 | ・・・基材が含水系であるもの;パップ剤 |
| 9/72 | ・喫煙用または吸入用医薬品製剤[2] |

注

(1) 組成物, すなわち 2 以上の成分の混合物は, これらの成分のうち少なくとも 1 つを規定しているグループ 31/00-47/00 のうち最後のグループに分類する。その成分は単一の化合物またはその他の単一の構成要素であることもある。[8]

注

(2) 注 (1) による分類では特定されず, それ自体が新規かつ非自明であると判断された組成物の何れの部分も, グループ 31/00-47/00 の最後の適切な箇所にも分類しなければならない。この部分は, 単一の成分または組成物自体の何れかであり得る。[8]

注

(3) 注 (1) または (2) による分類では特定されず, 検索に重要な情報であると思われる組成物の何れの部分も, グループ 31/00-47/00 の最後の適切な箇所にも分類することができる。これは, 例えば分類記号の組合わせを使用した組成物の検索が可能なることが有益であると考えられる場合などにあり得る。このような非義務的分類は, “付加情報” として表示すべきである。[8]

31/00 有機活性成分を含有する医薬品製剤[2]

注

(1) 重金属と塩または複合体を形成する活性成分である有機化合物は, これに反する指示がない限り, グループ 31/28, 31/555 または 31/7135 には分類されない。すなわち, ヘミン 31/555[7]

注

(2) このグループにおいて, “さらに複素環を含む” および“複素環と縮合した” という表現には, 2 以上の複素環を有する化合物を包含する。[7]

| | |
|--------|---|
| 31/01 | ・炭化水素[2] |
| 31/015 | ・・炭素環式のもの[2] |
| 31/02 | ・ハロゲン化炭化水素[2] |
| 31/025 | ・・炭素環式のもの[2] |
| 31/03 | ・・・芳香族のもの[2] |
| 31/035 | ・・脂肪族不飽和結合を有するもの[2] |
| 31/04 | ・ニトロ化合物[2] |
| 31/045 | ・ヒドロキシ化合物, 例. アルコール; その塩, 例. アルコラート(ヒドロパーオキシド A61K31/327)[2, 7] |
| 31/047 | ・・2 またはそれ以上のヒドロキシ基を持つもの, 例. ソルビトール[7] |
| 31/05 | ・・フェノール[2] |

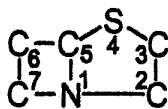
- 31/055 ・ ・ ・ 芳香族環がハロゲンで置換されているもの[2]
- 31/06 ・ ・ ・ 芳香族環がニトロ基で置換されているもの[2]
- 31/065 ・ ・ ジフェニル置換非環式アルコール[2]
- 31/07 ・ ・ レチノール化合物, 例. ビタミン A (レチノイン酸 A61K31/203) [2, 7]
- 31/075 ・ エーテルまたはアセタール[2]
- 31/08 ・ ・ 非環式のもの, 例. パラホルムアルデヒド[2]
- 31/085 ・ ・ 芳香族環の核炭素にエーテル結合を有するもの[2]
- 31/09 ・ ・ ・ その結合が 2 個以上のもの[2]
- 31/095 ・ 硫黄, セレンまたはテルル化合物, 例. チオール[2]
- 31/10 ・ ・ スルフィド;スルフォキシド;スルフォン[2]
- 31/105 ・ ・ 過硫化物 (チウラムジスルフィド A61K31/145, チオスルホン酸 A61K31/185) [2]
- 31/11 ・ アルデヒド[2]
- 31/115 ・ ・ ホルムアルデヒド[2]
- 31/12 ・ ケトン[2]
- 31/121 ・ ・ 非環式のもの[7]
- 31/122 ・ ・ 環に直接結合した酸素を持つもの, 例. キノン, ビタミン K₁, アントラリン[7]
- 31/125 ・ ・ ・ 樟脳;その核置換誘導体[2]
- 31/13 ・ アミン, 例. アマンタジン (A61K31/04 が優先) [2]
- 31/131 ・ ・ 非環式のもの[7]
- 31/132 ・ ・ 2 以上のアミノ基を有するもの, 例. スペルミジン, プトレシン[7]
- 31/133 ・ ・ 水酸基を有するもの, 例. スフィンゴシン[7]
- 31/135 ・ ・ 芳香族環を持つもの, 例. メタドン[2, 7]
- 31/136 ・ ・ ・ 芳香族環に直接結合したアミノ基を持つもの, 例. ベンゼンアミン[7]
- 31/137 ・ ・ ・ アリールアルキルアミン, 例. アンフェタミン, エピネフリン, サルブタモール, エフェドリン[7]
- 31/138 ・ ・ ・ アリールオキシアルキルアミン, 例. プロプラノロール, タモキシフェン, フェノキシベンズアミン (アテノロール A61K31/165; ピンドロール A61K31/404; チモロール A61K31/5377) [7]
- 31/14 ・ ・ 第 4 級アンモニウム化合物, 例. エドロフォニウム, コリン (ベタイン A61K31/205) [2]
- 31/145 ・ ・ 硫黄原子を持つもの, 例. チウラム (>N-C(=S)-S-C(=S)-N<または>N-C(=S)-S-S-C(=S)-N<);スルフィニルアミン (-N=SO);スルフォニルアミン (-N=SO₂) (イソチオ尿素 A61K31/155) [2, 7]
- 31/15 ・ ・ オキシム (>C=N-O-);ヒドラジン (>N-N<);ヒドラゾン (>N-N=) [2]
- 31/155 ・ ・ アミジン ($\text{>N}=\overset{\text{I}}{\text{C}}-\text{N}<$), 例. グアニジン (H₂N-C(=NH)-NH₂), イソ尿素 (N=C(OH)-NH₂), イソチオ尿素 (-N=C(SH)-NH₂) [2]
- 31/16 ・ アミド, 例. ヒドロキサム酸[2]
- 31/164 ・ ・ アミノアルコールとカルボン酸とのアミド, 例. セラミド[7]
- 31/165 ・ ・ 芳香族環を持つもの, 例. コルヒチン, アテノロール, プロガバイド[2]
- 31/166 ・ ・ ・ カルボキシアミド基の炭素が芳香族環に直接結合したもの, 例. プロカインアミド, プロカルバジン, メトクロプラミド, ラベタロール[7]
- 31/167 ・ ・ ・ カルボキシアミド基の窒素が芳香族環に直接結合したもの, 例. リドカイン, パラセタモール[7]
- 31/17 ・ ・ 基>N-C(O)-N<または>N-C(S)-N<を持つもの, 例. 尿素, チオ尿素, カルムスチン (イソ尿素, イソチオ尿素 A61K31/155; スルフォニル尿素 A61K31/64) [2, 7]
- 31/175 ・ ・ ・ 基 $\text{>N-C(O)-}\overset{\text{I}}{\text{N}}-\text{N}<$, >N-C(O)-N=N- または $\text{>N-C(O)-}\overset{\text{I}}{\text{N}}-\text{N}=\text{}$ を持つもの, 例. カルバジド, すなわちカルボノヒドラジド, カルバゾン, セミカルバジド, セミカルバゾン;それらのチオ類似体[2, 7]
- 31/18 ・ ・ スルフォンアミド (パラ-N-ベンゼン-スルフォニル-N-基を含有する化合物 A61K31/63) [2]
- 31/185 ・ 酸;その無水物, ハロゲン化物または塩, 例. 硫黄の酸, イミド酸, ヒドラゾン酸, ヒドロキシム酸 (ヒドロキサム酸 A61K31/16; 過酸素酸 A61K31/327) [2, 7]
- 31/19 ・ ・ カルボン酸, 例. パルプロ酸 (サリチル酸 A61K31/60) [2, 7]
- 31/191 ・ ・ ・ 2 個以上のヒドロキシ基を持つ非環式酸, 例. グルコン酸[7]
- 31/192 ・ ・ ・ 芳香族基を持つもの, 例. スリンダク, 2-アリール-プロピオン酸, エタクリン酸[7]
- 31/194 ・ ・ ・ 2 個以上のカルボキシル基を持つもの, 例. コハク酸, マレイン酸, フタル酸[7]

A 6 1 K

| | | | |
|---|--|--------|--|
| 31/195 | ・・・アミノ基を持つもの[2, 7] | | |
| 注 | | 31/245 | ・・・アミノ安息香酸型のもの, 例. プロカイン, ノボカイン (サリチル酸エステルを含有する製剤 A61K31/60) [2] |
| ・・・このグループにおいては, “アミノ基” は “アシル・アミノ基” も包含する。[7] | | 31/25 | ・・・ポリオキシアルキル化アルコールとのも (ポリエチレングリコールのエステル) [2] |
| 31/196 | ・・・アミノ基が環に直接結合しているもの, 例. アントラニル酸, メフェナム酸, ジクロフェナツク, クロラムブシル[7] | 31/255 | ・硫黄の酸素酸またはその硫黄類似体のエステル[2] |
| 31/197 | ・・・アミノ基とカルボキシル基とが同一の非環式の炭素鎖に結合しているもの, 例. γ -アミノ酪酸[GABA], β -アラニン, ϵ -アミノカプロン酸またはパントテン酸 (カルニチン A61K31/205) [2006. 01] | 31/26 | ・シアナートまたはイソシアナートエステル; チオシアナートまたはイソチオシアナートエステル[2, 7] |
| 31/198 | ・・・ α -アミノ酸, 例. アラニンまたはエデト酸[EDTA] (ベタイン A61K31/205; プロリン A61K31/401; トリプトファン A61K31/405; ヒスチジン A61K31/4172; 個々のアミノ酸まで分解されていないペプチド A61K38/00) [2006. 01] | 31/265 | ・炭酸, チオ炭酸またはチオカルボン酸のエステル, 例. チオ酢酸, キサントゲン酸, トリチオ炭酸[2] |
| 31/20 | ・・・・7 個以上の炭素原子鎖に結合したカルボキシル基を持つもの, 例. ステアリン酸, パルミチン酸, アラキドン酸[2] | 31/27 | ・カルバミン酸またはチオカルバミン酸のエステル, 例. メプロバメート, カルバコール, ネオスチグミン[2] |
| 31/201 | ・・・・1 個又は 2 個の二重結合を持つもの, 例. オレイン酸, リノール酸[7] | 31/275 | ・ニトリル; イソニトリル[2] |
| 31/202 | ・・・・3 個以上の二重結合を持つもの, 例. リノレン酸 (エイコサノイド, 例. ロイコトリエン A61K31/557) [7] | 31/277 | ・環式基を持つもの, 例. ベラパミル[7] |
| 31/203 | ・・・・レチノイン酸[7] | 31/28 | ・重金属を含有する化合物[2] |
| 31/205 | ・有機酸のアミン付加塩; 分子内第 4 級アンモニウム塩, 例. ベタイン, カルニチン[2] | 31/282 | ・白金化合物[7] |
| 31/21 | ・エステル, 例. ニトログリセリン, セレノシアネート[2] | 31/285 | ・砒素化合物[2] |
| 31/215 | ・カルボン酸のエステル[2] | 31/29 | ・アンチモンまたはビスマス化合物[2] |
| 31/216 | ・芳香族環を持つ酸のエステル, 例. ベナクチジン, クロフィブレート[7] | 31/295 | ・鉄族金属化合物[2] |
| 31/22 | ・非環式酸のエステル, 例. プラバスタチン[2] | 31/30 | ・銅化合物[2] |
| 31/221 | ・・・・アミノ基を持つ化合物とのも, 例. アセチルコリン, アセチルカルニチン[7] | 31/305 | ・水銀化合物[2] |
| 31/222 | ・・・・芳香族基を持つ化合物とのも, 例. ジピペフリン, イボパミン[7] | 31/31 | ・・・・窒素を含有するもの[2] |
| 31/223 | ・・・・ α -アミノ酸のエステル[7] | 31/315 | ・亜鉛化合物[2] |
| 31/225 | ・・・・ポリカルボン酸[2] | 31/32 | ・錫化合物[2] |
| 31/23 | ・・・・7 個以上の炭素原子鎖に結合したカルボキシル基を持つ酸のエステル[2] | 31/325 | ・カルバミン酸; チオカルバミン酸; それらの無水物または塩 (チウラム A61K31/145) [2] |
| 31/231 | ・・・・1 個又は 2 個の二重結合を持つもの[7] | 31/327 | ・パーオキシ化合物, 例. ヒドロパーオキサイド, パーオキサイド, 過酸[7] |
| 31/232 | ・・・・3 個以上の二重結合を持つもの, 例. エトレチナート[7] | 31/33 | ・複素環式化合物[2] |
| 31/235 | ・カルボキシル基に結合する芳香環をもつもの[2] | 31/335 | ・環異種原子として酸素のみを持つもの, 例. フンギクロミン[2] |
| 31/24 | ・・・・アミノまたはニトロ基をもつもの | 31/336 | ・・・・3 員環を持つもの, 例. オキシラン, フマギリン[7] |
| | | 31/337 | ・・・・4 員環を持つもの, 例. タキソール[7] |
| | | 31/34 | ・環異種原子として 1 個の酸素のみを有する 5 員環を持つもの, 例. イソソルビド[2] |
| | | 31/341 | ・・・・他の環と縮合していないもの, 例. ラニチジン, フロセミド, プフェトロール, ムスカリン[7] |
| | | 31/343 | ・・・・炭素環と縮合したもの, 例. クマラン, プフラロール, ペフノロール, クロベンフロール, アミオオダロン[7] |
| | | 31/345 | ・・・・ニトロフラン (ニトロフラニトイン A61K31/4178) [2, 7] |
| | | 31/35 | ・・・・異種原子として 1 個の酸素のみを有 |

- 31/351 する 6 員環を持つもの[2]
 31/352 ・・・・他の環と縮合していないもの[7]
 31/352 ・・・・炭素環と縮合したもの, 例. カンナビノール, メタンテリン[7]
 31/353 ・・・・3, 4-ジヒドロベンゾピラン, 例. クロマン, カテキン (トコフェロール A61K31/355) [7]
 31/355 ・・・・トコフェロール, 例. ビタミン E[2]
 31/357 ・・・・2 個以上の酸素原子が同一環中に有するもの, 例. クラウンエーテル, グアナドレル[7]
 31/36 ・・・・メチレンジオキシフェニル基を有する化合物, 例. セサミン[2]
 31/365 ・・・・ラクトン[2]
 31/366 ・・・・6 員環を持つもの, 例. δ -ラクトン[7]
 31/37 ・・・・クマリン, 例. プソラレン[2]
 31/375 ・・・・アスコルビン酸, すなわちビタミン C; その塩[2]
 31/38 ・・・・環異種原子として硫黄をもつもの[2]
 31/381 ・・・・5 員環を持つもの:[7]
 31/382 ・・・・6 員環を持つもの, 例. チオキサテン (チオチキセン A61K31/496) [7]
 31/385 ・・・・同一環中に 2 個以上の硫黄原子をもつもの[2]
 31/39 ・・・・同一環中に酸素をもつもの[2]
 31/395 ・・・・環異種原子として窒素を持つもの, 例. グアネチジンまたはリファマイシン [2006. 01]
 31/396 ・・・・3 員環を持つもの, 例. アジリジン[7]
 31/397 ・・・・4 員環を持つもの, 例. アゼチジン[7]
 31/40 ・・・・環異種原子として 1 個の窒素をもつ 5 員環を有するもの, 例. スルピリド, スクシンイミド, トルメチン, プフロメシル [2]
 31/401 ・・・・プロリン; その誘導体, 例. カプトプリル[7]
 31/4015 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例. ピラセタム, エトスクシミド[7]
 31/402 ・・・・1-アリール置換されたもの, 例. ピレタニド[7]
 31/4025 ・・・・縮合することなく, さらに複素環を含有する化合物, 例. クロマカリム[7]
 31/403 ・・・・炭素環と縮合したもの, 例. カルバゾール[7]
 31/4035 ・・・・イソインドール, 例. フタルイミド[7]
 31/404 ・・・・インドール, 例. ピンドロール[7]
 31/4045 ・・・・インドール-アルキルアミン及びそのアミド, 例. セロトニン, メラトニン[7]
 31/405 ・・・・インドールアルカンカルボン酸; その誘導体, 例. トリプトファン, インドメタシン[2]
 31/407 ・・・・他の複素環系と縮合したもの, 例. ケトロラック, フィソスチグミン[7]
 31/409 ・・・・4 個の当該環を持つもの, 例. ポルフィリン誘導体, ビリルビン, ビリベルデン (ヘミン, ヘマチン A61K31/555) [7]
 31/41 ・・・・2 個以上の環異種原子を有し, そのうち少なくとも 1 個は窒素である 5 員環をもつもの, 例. テトラゾール[2]
 31/415 ・・・・1, 2-ジアゾール[2, 7]
 31/4152 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例. アンチピリン, フェニルブタゾン, スルフィンピラゾン[7]
 31/4155 ・・・・縮合することなく, さらに複素環を含むもの[7]
 31/416 ・・・・炭素環と縮合したもの, 例. インダゾール[7]
 31/4162 ・・・・他の複素環系と縮合したもの[7]
 31/4164 ・・・・1, 3-ジアゾール, 例. イミダゾール[7]
 31/4166 ・・・・直接結合したオキソ基を持つもの, 例. フェニトイン[7]
 31/4168 ・・・・2 位に結合した窒素を持つもの, 例. クロニジン[7]
 31/417 ・・・・イミダゾール-アルキルアミン, 例. ヒスタミン, フェントラミン[7]
 31/4172 ・・・・イミダゾール-アルカンカルボン酸, 例. ヒスチジン[7]
 31/4174 ・・・・アリールアルキルイミダゾール, 例. オキシメタゾリン, ナファゾリン, ミコナゾール[7]
 31/4178 ・・・・縮合することなく, さらに複素環を含有するもの, 例. ピロカルピン, ニトロフラントイン[7]
 31/4184 ・・・・炭素環と縮合したもの, 例. ベンズイミダゾール[7]
 31/4188 ・・・・他の複素環系と縮合したもの, 例. ビオチン, ソルビニル[7]
 31/4192 ・・・・1, 2, 3-トリアゾール[7]
 31/4196 ・・・・1, 2, 4-トリアゾール[7]
 31/42 ・・・・オキサゾール[2, 7]
 31/421 ・・・・1, 3-オキサゾール, 例. ペモリン, トリメタジオン[7]
 31/422 ・・・・縮合することなく, さらに複素環を含むもの[7]
 31/423 ・・・・炭素環と縮合したもの[7]
 31/424 ・・・・他の複素環系と縮合したもの, 例. クラブラン酸[7]
 31/4245 ・・・・オキサジアゾール[7]
 31/425 ・・・・チアゾール[2, 7]
 31/426 ・・・・1, 3-チアゾール[7]

- 31/427 ・・・・非縮合チアゾールを持ち、さらに複素環を含むもの[7]
- 31/428 ・・・・炭素環と縮合したもの[7]
- 31/429 ・・・・他の複素環系と縮合したもの[7]
- 31/43 ・・・・4-チア-1-アザビシクロ[3,2,0]ヘプタン環系を含有する化合物、すなわ

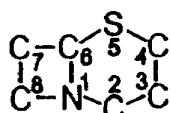


ち、式 $\text{C}_6\text{H}_7\text{N}_1\text{S}_4\text{C}_3$ の環系を含有する化合物、例. ペニシリン誘導体、ペネム誘導体[2,6]

- 31/431 ・・・・さらに複素環系を含有するもの、例. チカルシリン、アズロシリン、オキサシリン[7]
- 31/433 ・・・・チアジアゾール[7]
- 31/435 ・・・・環異種原子として1個の窒素のみを有する6員環を持つもの、例. 炭素環系と縮合したもの(キノリン A61K31/47) [2]
- 31/4353 ・・・・複素環とオルトまたはペリ縮合したもの[7]
- 31/4355 ・・・・環異種原子として酸素を持つ5員環を含む複素環系と縮合したもの[7]
- 31/436 ・・・・環異種原子として酸素を持つ6員環を含む複素環系と縮合したもの、例. ラパマイシン[7]
- 31/4365 ・・・・環異種原子として硫黄を持つ複素環系と縮合したもの、例. チクロジピン[7]
- 31/437 ・・・・環異種原子として窒素を持つ5員環を含む複素環系と縮合したもの、例. インドリジン、 β -カルボリン[7]
- 31/4375 ・・・・環異種原子として窒素を持つ6員環を含む複素環系と縮合したもの、例. キノリジン、ナフチリジン、ビンカミン[7]
- 31/438 ・・・・環が炭素環系又は複素環系とスピロ縮合しているもの[7]
- 31/439 ・・・・環が架橋環系の部分を構成しているもの、例. キヌクリジン(8-アザ-ビシクロ[3.2.1]オクタン A61K31/46) [7]
- 31/44 ・・・・非縮合ピリジン;その水素添加誘導体[2,7]
- 31/4402 ・・・・2位のみ置換されたもの、例. フェニラミン、ビスコジル[7]
- 31/4406 ・・・・3位のみ置換されたもの、例. ジメルシン(ニコチン酸 A61K31/455) [7]
- 31/4409 ・・・・4位のみ置換されたもの、例. イソニアジド、イプロニアジド[7]
- 31/4412 ・・・・複素環に直接結合したオキシ基を持つもの[7]
- 31/4415 ・・・・ピリドキシン、すなわちビタミン B₆ (リン酸ピリドキサル A61K31/675) [7]
- 31/4418 ・・・・複素環に直接結合した炭素環を持つもの、例. シプロヘプタジン[7]
- 31/4422 ・・・・1,4-ジヒドロピリジン、例. ニフエジピン、ニカルジピン[7]
- 31/4425 ・・・・ピリジニウム誘導体、例. プラリドキシム、ピリドスチグミン[7]
- 31/4427 ・・・・さらに複素環系を含有するもの[7]
- 31/443 ・・・・環異種原子として酸素を有する5員環を含むもの[7]
- 31/4433 ・・・・環異種原子として酸素を有する6員環を含むもの[7]
- 31/4436 ・・・・環異種原子として硫黄を有する複素環を含むもの[7]
- 31/4439 ・・・・環異種原子として窒素を有する5員環を含むもの、例. オメプラゾール(ニコチン A61K31/465) [7]
- 31/444 ・・・・環異種原子として窒素を有する6員環を含むもの、例. アムリノン[7]
- 31/445 ・・・・非縮合ピペリジン、例. ピペロカイン[2,7]
- 31/4453 ・・・・1位のみ置換されたもの、例. プロピポカイン、ジペロドン[7]
- 31/4458 ・・・・2位のみ置換されたもの、例. メチルフェニデート[7]
- 31/4462 ・・・・3位のみ置換されたもの[7]
- 31/4465 ・・・・4位のみ置換されたもの[7]
- 31/4468 ・・・・4位に直接結合した窒素を持つもの、例. クレボプリド、フェンタニル[7]
- 31/45 ・・・・複素環に直接結合したオキシ基を持つもの、例. シクロヘキシイミド(グルテチミド A61K31/451) [2,7]
- 31/451 ・・・・複素環に直接結合した炭素環基を持つもの、例. グルテチミド、メペリジン、ロペラミド、フェンシクリジン、ピミノジン[7]
- 31/4515 ・・・・1位にブチロフェノン基を持つもの、例. ハロペリドール(ピバンペロン A61K31/4545) [7]
- 31/452 ・・・・ピペリジニウム誘導体(パンクロニウム A61K31/58) [7]
- 31/4523 ・・・・さらに複素環系を含有するもの[7]
- 31/4525 ・・・・環異種原子として酸素を有する5員環を含むもの[7]
- 31/453 ・・・・環異種原子として酸素を有する6員環を含むもの[7]
- 31/4535 ・・・・環異種原子として硫黄を有する複素環を含むもの、例. ピゾチフェン[7]
- 31/454 ・・・・環異種原子として窒素を有する5員環を含むもの、例. ピモジド、ド

| | | | |
|---------|--|---------|---|
| | ンペリドン[7] | | [2006. 01] |
| 31/4545 | ・ ・ ・ ・ ・ 環異種原子として窒素有する 6 員環を含むもの, 例. ピパンペロン, アナバシン[7] | 31/4965 | ・ ・ ・ ・ 非縮合ピラジン[7] |
| 31/455 | ・ ・ ・ ・ ニコチン酸, 例. ナイアシン; その誘導体, 例. エステル, アミド[2] | 31/497 | ・ ・ ・ ・ さらに複素環を含む非縮合ピラジン[7] |
| 31/46 | ・ ・ ・ ・ 8-アザビシクロ[3. 2. 1]オクタン; その誘導体, 例. アトロピン, コカイン[2] | 31/498 | ・ ・ ・ ・ 炭素環系とオルト又はペリ縮合したピラジン又はピペラジン, 例. キノキサリン, フェナジン[7] |
| 31/465 | ・ ・ ・ ・ ニコチン; その誘導体[2] | 31/4985 | ・ ・ ・ ・ 複素環系とオルト又はペリ縮合したピラジン又はピペラジン[7] |
| 31/47 | ・ ・ ・ ・ キノリン; イソキノリン[2] | 31/499 | ・ ・ ・ ・ スピロ縮合したピラジンまたはピペラジン[7] |
| 31/4704 | ・ ・ ・ ・ 2-キノリノン, 例. カルボスチリル[7] | 31/4995 | ・ ・ ・ ・ 架橋環系の部分を構成するピラジンまたはピペラジン[7] |
| 31/4706 | ・ ・ ・ ・ 4-アミノキノリン; 8-アミノキノリン, 例. クロロキン, プリマキン[7] | 31/50 | ・ ・ ・ ・ ピリダジン; 水素添加ピリダジン[2, 7] |
| 31/4709 | ・ ・ ・ ・ 縮合することなく, さらに複素環を含むキノリン[7] | 31/501 | ・ ・ ・ ・ 縮合することなく, さらに複素環を含むもの[7] |
| 31/472 | ・ ・ ・ ・ 非縮合イソキノリン, 例. パパベリン[7] | 31/502 | ・ ・ ・ ・ 炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの, 例. シンノリン, フタラジン[7] |
| 31/4725 | ・ ・ ・ ・ ・ さらに複素環を含むもの[7] | 31/5025 | ・ ・ ・ ・ 複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの[7] |
| 31/473 | ・ ・ ・ ・ 炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの, 例. アクリジン, フェナントリジン[7] | 31/503 | ・ ・ ・ ・ スピロ縮合したもの[7] |
| 31/4738 | ・ ・ ・ ・ 複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの[7] | 31/504 | ・ ・ ・ ・ 架橋環系の部分を構成するもの[7] |
| 31/4741 | ・ ・ ・ ・ ・ 環異種原子として酸素を持つ環系で縮合したもの, 例. ツボクラリン誘導体, ノスカピン, ビククリン[7] | 31/505 | ・ ・ ・ ・ ピリミジン; 水素添加ピリミジン, 例. トリメトプリム[2, 7] |
| 31/4743 | ・ ・ ・ ・ ・ 環異種原子として硫黄を持つ環系で縮合したもの[7] | 31/506 | ・ ・ ・ ・ 縮合することなく, さらに複素環を含有するもの[7] |
| 31/4745 | ・ ・ ・ ・ ・ 環異種原子として窒素有する環系で縮合したもの, 例. フェナントロリン (ヨヒンビン誘導体, ビンブラスチン A61K31/475; エルゴリン誘導体 A61K31/48) [7] | 31/51 | ・ ・ ・ ・ ・ チアミン, 例. ビタミン B ₁ [2] |
| 31/4747 | ・ ・ ・ ・ スピロ縮合したもの[7] | 31/513 | ・ ・ ・ ・ 複素環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例. シトシン[7] |
| 31/4748 | ・ ・ ・ ・ 架橋環系の部分を構成するもの (ストリキニン A61K31/475; モルフィナン誘導体 A61K31/485) [7] | 31/515 | ・ ・ ・ ・ ・ バルビツール酸; その誘導体, 例. ペントバルビタールナトリウム[2] |
| 31/475 | ・ ・ ・ ・ インドール環を持つもの, 例. ヨヒンビン, レセルピン, ストリキニン, ビンブラスチン (ピンカミン A61K31/4375) [2, 7] | 31/517 | ・ ・ ・ ・ 炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの, 例. キナゾリン, ペリミジン[7] |
| 31/48 | ・ ・ ・ ・ ・ エルゴリン誘導体, 例. リセルグ酸, エルゴタミン[2, 7] | 31/519 | ・ ・ ・ ・ 複素環系とオルソまたはペリ縮合したもの[7] |
| 31/485 | ・ ・ ・ ・ ・ モルフィナン誘導体, 例. モルフィン, コデイン[2, 7] | 31/52 | ・ ・ ・ ・ ・ プリン, 例. アデニン[2, 7] |
| 31/49 | ・ ・ ・ ・ シンコナン誘導体, 例. キニン[2, 7] | 31/522 | ・ ・ ・ ・ ・ 複素環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例. ヒポキサンチン, グアニン, アシクロビル[7] |
| 31/495 | ・ ・ ・ 環異種原子として 2 個の窒素有する 6 員環を持つもの, 例. ピペラジン (A61K31/48 が優先) [2] | 31/525 | ・ ・ ・ ・ ・ イソアロキサジン, 例. リボフラビン, ビタミン B ₂ [2] |
| 31/496 | ・ ・ ・ ・ 非縮合ピペラジンを持ち, さらに複素環を含む化合物, 例. リファンピン, チオチキセン, スパルフロキサシン | 31/527 | ・ ・ ・ ・ スピロ縮合したもの[7] |
| | | 31/529 | ・ ・ ・ ・ 架橋環系の部分を構成するもの[7] |
| | | 31/53 | ・ ・ ・ 環異種原子として 3 個の窒素有する 6 員環を持つもの, 例. クロラザニル, メラミン (メラルソブロール A61K31/555) [2] |
| | | 31/535 | ・ ・ ・ 環異種原子として少なくとも 1 個の窒素及び 1 個の酸素を有する 6 員環を持つもの, 例. 1, 2-オキサジン[2] |
| | | 31/5355 | ・ ・ ・ 縮合することなく, さらに複素環を |

- 含有するオキサジン[7]
- 31/536 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したものの[7]
- 31/5365 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したものの[7]
- 31/537 ・・・・スピロ縮合または架橋環系の部分を構成するもの[7]
- 31/5375 ・・・・1,4-オキサジン, 例. モルホリン[7]
- 31/5377 ・・・・縮合することなく, さらに複素環を含有するもの, 例. チモロール[7]
- 31/538 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したものの[7]
- 31/5383 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したものの[7]
- 31/5386 ・・・・スピロ縮合又は架橋環系の部分を構成するもの[7]
- 31/539 ・・・・同一環に 2 個以上の酸素原子を持つもの, 例. ジオキサジン[7]
- 31/5395 ・・・・同一環に 2 個以上の窒素原子を持つもの[7]
- 31/54 ・・・・環異種原子として少なくとも 1 個の窒素及び 1 個の硫黄を有する 6 員環を持つもの, 例. スルチアム[2]
- 31/541 ・・・・非縮合チアジンをもち, さらに複素環を含有する化合物[7]
- 31/5415 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの, 例. フェノチアジン, クロルプロマジン, ピロキシカム[7]
- 31/542 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したものの[7]
- 31/545 ・・・・5-チア-1-アザビシクロ[4.2.0]オクタン環系を含有する化合物



- 例. セファロスポリン, セファクロル, セファレキシム[2, 6]
- 31/546 ・・・・さらに複素環を含むもの, 例. セファロチン[7]
- 31/547 ・・・・スピロ縮合または架橋環系の部分を構成するもの[7]
- 31/548 ・・・・同一環に 2 個以上の硫黄原子を持つもの[7]
- 31/549 ・・・・同一環に 2 個以上の窒素原子を持つもの[7]
- 31/55 ・・・・7 員環を持つもの, 例. アゼラスチン, ペンチレンテトラゾール[2]
- 31/551 ・・・・環異種原子として 2 個の窒素原子を持つもの, 例. クロザビン, ジラゼブ[7]
- 31/5513 ・・・・1,4-ベンゾジアゼピン, 例. ジアセパム[7]
- 31/5517 ・・・・環異種原子として窒素を持つ 5 員環と縮合したもの, 例. イミダゾベン

- ゾジアゼピン, トリアゾラム[7]
- 31/553 ・・・・環異種原子として少なくとも 1 個の窒素及び 1 個の酸素を持つもの, 例. ロキサビン, スタウロスポリン[7]
- 31/554 ・・・・環異種原子として少なくとも 1 個の窒素及び 1 個の硫黄を持つもの, 例. クロチアビン, ジルチアゼム[7]
- 31/555 ・・・・重金属を含有するもの, 例. ヘミン, ヘマチン, メラルソプロール[2]
- 31/557 ・エイコサノイド, 例. ロイコトリエン[3, 7]
- 31/5575 ・・・・シクロペンタン環をもつもの, 例. プロスタグランジン E2, プロスタグランジン F2 α [7]
- 31/5578 ・・・・ペンタレン環を持つもの, 例. カルバサイクリン, イロプロスト[7]
- 31/558 ・・・・環異種原子として酸素のみを含む複素環をもつもの, 例. トロンボキサン[7]
- 31/5585 ・・・・環異種原子として酸素のみを含む 5 員環を持つもの, 例. プロスタサイクリン[7]
- 31/559 ・・・・酸素以外の環異種原子を含む複素環を持つもの[7]
- 31/56 ・シクロペンタ[a]ヒドロフェナントレン環系を含む化合物, 例. ステロイドまたはそれから誘導される化合物[4, 7]

注

・“ステロイド” という用語に含まれるのは何かについて説明した, サブクラス C07J のタイトル後の注(1)に注意すること。
[7]

- 31/565 ・・・・17 β 位が炭素原子によって置換されていないもの, 例. エストラン, エストラジオール[2]
- 31/566 ・・・・17 β 位にオキシ基を持つもの, 例. エストロン[7]
- 31/567 ・・・・17 α 位が置換されたもの, 例. メストラノール, ノルエタンドロロン[7]
- 31/568 ・・・・10, 13 位が少なくとも 1 個の炭素原子を有する炭素鎖によって置換されたもの, 例. アンドロスタン, 例. テストステロン[7]
- 31/5685 ・・・・17 β 位にオキシ基を持つもの, 例. アンドロステロン[7]
- 31/569 ・・・・17 α 位が置換されたもの, 例. エチステロン[7]
- 31/57 ・・・・17 β 位が 2 個の炭素原子を有する炭素鎖によって置換されたもの, 例. プレグナン, プロゲステロン[2006. 01]
- 31/573 ・・・・21 位が置換されたもの, 例. コルチゾン, デキサメタゾン, プレドニゾン, アルドステロン[2006. 01]
- 31/575 ・・・・17 β 位が少なくとも 3 個の炭素原子を有する炭素鎖によって置換されたもの, 例. コラン, コレスタン, エルゴステロー

- ル, シトステロール[2]
- 31/58 ・複素環を含有するもの, 例. ダナゾール, スタノゾロール, パンクロニウム, シギトゲニン (ジギトキシシン A61K31/704) [2006. 01]
- 31/585 ・ラクトン環を含有するもの, 例. オキサンドロン, プファリン[2]
- 31/59 ・9, 10-セコシクロペンタ[a]ヒドロフエナントレン環系を含有する化合物[2]
- 31/592 ・9, 10-セコエルゴスタン誘導体, 例. エルゴカルシフェロール, ビタミン D₂[7]
- 31/593 ・9, 10-セココレスタン誘導体, 例. コレカルシフェロール, すなわちビタミン D₃[7]
- 31/60 ・サリチル酸; その誘導体[2]
- 31/603 ・さらに芳香族環を持つもの, 例. シフルニサル[7]
- 31/606 ・アミノ基を持つもの[7]
- 31/609 ・アミド, 例. サリチルアミド[7]
- 31/612 ・2 位にエステル化された水酸基を持つもの, 例. サリチル硫酸 (フォスフォサル A61K31/661) [7]
- 31/616 ・カルボン酸によるもの, 例. アセチルサリチル酸[7]
- 31/618 ・1 位にエステル化されたカルボキシル基を持つもの, 例. サルサラート[7]
- 31/621 ・2 位にもエステル化された水酸基を持つもの, 例. ペノリラート[7]
- 31/625 ・複素環式置換基を持つもの, 例. 4-サルチルオイルモルフォリン (スルファサラジン A61K31/635) [2, 7]
- 31/63 ・パラ-N-ベンゼンスルホニル-N-基を含有する化合物, 例. スルファニルアミド, P-ニトロベンゼンスルフォノヒドラジド[2]
- 31/635 ・複素環を有するもの, 例. スルファジアジン[2]
- 31/64 ・スルホニル尿素, 例. グリベンクラミド, トルブタミド, クロルプロパミド[2]
- 31/65 ・テトラサイクリン[2]
- 31/655 ・アゾ (—N=N—), ジアゾ (=N₂), アゾキシ (>N(O)—N< または N(=O)—N<), アジド (—N₃), またはジアゾアミノ (—N=N—N<) 化合物[2]
- 31/66 ・リン化合物[2]
- 31/661 ・P—C 結合を持たないリン酸またはそのエステル, 例. ホスフォサル, ジクロロボス, マラチオン[7]
- 31/6615 ・2 またはそれ以上のエステル化されたリン酸基を持つ化合物, 例. イノシトールトリホスフェート, フィチン酸[7]
- 31/662 ・P—C 結合をもつリン酸又はそのエステル, 例. ホスカルネット, トリクロルホン[7]
- 31/663 ・2 またはそれ以上のリン酸基又はそのエステル基を持つ化合物, 例. クロドロン酸, パミドロン酸[7]
- 31/664 ・リン酸のアミド[7]
- 31/665 ・環構成異種原子として酸素を持つもの, 例. ホスホマイシン[2]
- 31/67 ・環構成異種原子として硫黄をもつもの[2]
- 31/675 ・環構成異種原子として窒素を持つもの, 例. ビリドキサル リン酸塩[2]
- 31/683 ・2 個のヒドロキシ化合物とリン酸とのジエステル, 例. ホスファチジルイノシトール[7]
- 31/685 ・一方のヒドロキシ化合物が窒素原子を持つもの, 例. ホスファチシルセリン, レシチン[2, 7]
- 31/688 ・双方のヒドロキシ化合物が窒素原子を持つもの, 例. スフィンゴミエリン[7]
- 31/69 ・ほう素化合物[2]
- 31/695 ・けい素化合物[2]
- 31/70 ・炭水化物; 糖; その誘導体 (ソルビトール A61K31/047) [2, 7]

注

・このグループにおいて使用される表現は, サブクラス C07H のタイトルに続く注 (3) に指示される意味で用いる。[7]

- 31/7004 ・炭素, 水素, 酸素原子のみを持つ単糖[7]
- 31/7008 ・糖類基に直接結合する 1 個のアミノ基を持つ化合物, 例. D-ガラクトサミン, ラニムスチン[7]
- 31/7012 ・糖類基に直接または炭素鎖を介して結合した, 遊離またはエステル化されたカルボキシル基を持つ化合物, 例. グルクロン酸, ノイラミン酸 (グルコン酸 A61K31/191, アスコルビン酸 A61K31/375) [7]
- 31/7016 ・二糖類, 例. ラクトース, ラクチュロース (ラクトビオン酸 A61K31/7032) [7]
- 31/702 ・少糖類, すなわちグリコシド結合により互いに結合した 3-5 個の糖類基を持つもの[7]
- 31/7024 ・糖類のエステル[7]
- 31/7028 ・グリコシド結合により, 糖類でない化合物と結合した糖類基を持つ化合物[7]
- 31/7032 ・ポリオール, すなわち, 2 個以上の遊離またはエステル化された水酸基 (グリコシド結合に含まれる水酸基を含む) をもつ化合物に結合したもの, 例. モノグルコシル-ジアシルグリセリド, ラクトビオン酸, ガングリオシド[7]
- 31/7034 ・炭素環と結合したもの, 例. フロリジン[7]
- 31/7036 ・炭素環に直接結合した少なくとも 1 個のアミノ基を持つもの, 例. ストレプ

| | | | |
|---------|---|---------|---|
| | トマイシン, ゲンタマイシン, アミカシン, バリダマイシン, フオルチマイシン[7] | | オチド[7] |
| 31/704 | ・ ・ ・ 縮合炭素環系に結合したもの, 例. センノシド, チオコルチコシド, エスシン, ダウノルビシン, ジギトキシシン[7] | 31/713 | ・ ・ ・ 2 本鎖の核酸またはオリゴヌクレオチド[7] |
| 31/7042 | ・ ・ 糖類基と複素環とを持つ化合物[7] | 31/7135 | ・ ・ 重金属を含む化合物[7] |
| 31/7048 | ・ ・ ・ 環構成異種原子として酸素原子を持つもの, 例. ロイコグルコサン, ヘスペリジン, エリスロマイシン, ナイスタチン[7] | 31/714 | ・ ・ ・ コバラミン, 例. シアノコバラミン, ビタミン B ₁₂ [7] |
| 31/7052 | ・ ・ ・ 環構成異種原子として窒素を持つもの, 例. ヌクレオシド, ヌクレオチド[7] | 31/715 | ・ ・ 多糖類, すなわちグリコシド結合により互いに結合された 6 個以上の糖類基を持つもの, 及びその誘導体, 例. エーテル, エステル[2] |
| 31/7056 | ・ ・ ・ 環構成異種原子として窒素を含む 5 員環を含むもの[7] | 31/716 | ・ ・ ・ グルカン[7] |
| 31/706 | ・ ・ ・ 環構成異種原子として窒素を含む 6 員環を含むもの[7] | 31/717 | ・ ・ ・ ・ セルロース[7] |
| 31/7064 | ・ ・ ・ ・ 縮合または非縮合のピリミシンを含むもの[7] | 31/718 | ・ ・ ・ ・ 澱粉及び澱粉加水分解物, 例. アミロース, アミロペクチン[7] |
| 31/7068 | ・ ・ ・ ・ ・ ピリミジン環に直接結合したオキソ基を含むもの, 例. シチジン, シチジル酸[7] | 31/719 | ・ ・ ・ ・ プルラン[7] |
| 31/7072 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ピリミジン環に直接結合した 2 個のオキソ基を持つもの, 例. ウリジン, ウリジル酸, チミジン, ジドブジン[7] | 31/721 | ・ ・ ・ ・ デキストラン[7] |
| 31/7076 | ・ ・ ・ ・ ・ プリンを含むもの, 例. アデノシン, アデニル酸[7] | 31/722 | ・ ・ ・ ・ キチン, キトサン[7] |
| 31/708 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ プリン環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例. グアノシン, グアニル酸[7] | 31/723 | ・ ・ ・ ・ キサンタン[7] |
| 31/7084 | ・ ・ 2 個のヌクレオシドまたはヌクレオチドを持つ化合物, 例. ニコチンアミド-アデニンジヌクレオチド, フラビン-アデニンジヌクレオチド[7] | 31/724 | ・ ・ ・ ・ シクロデキストリン[7] |
| 31/7088 | ・ ・ 3 個以上のヌクレオシドまたはヌクレオチドを持つ化合物[7] | 31/726 | ・ ・ ・ グリコサミノグリカン, すなわちムコ多糖 (コンドロイチン硫酸, デルマタン硫酸 A61K31/737) [7] |
| 31/7105 | ・ ・ ・ 天然のリボ核酸, すなわちアデニン, グアニン, シトシンまたはウラシルに結合したリボースのみを含み, 3' - 5' ホスホジエステル結合を持つもの[7] | 31/727 | ・ ・ ・ ・ ヘパリン; ヘパラン[7] |
| 31/711 | ・ ・ ・ 天然のデオキシリボ核酸, すなわちアデニン, グアニン, シトシン又はチミンに結合した 2' -デオキシリボースのみを含み, 3' - 5' ホスホジエステル結合を持つもの[7] | 31/728 | ・ ・ ・ ・ ヒアルロン酸[7] |
| 31/7115 | ・ ・ ・ 修飾塩基, すなわちアデニン, グアニン, シトシン, ウラシル又はチミン以外, を持つ核酸又はオリゴヌクレオチド[7] | 31/729 | ・ ・ ・ 寒天; アガロース; アガロペクチン[7] |
| 31/712 | ・ ・ ・ 修飾された糖, すなわちリボースまたは 2' -デオキシリボース以外, を持つ核酸又はオリゴヌクレオチド[7] | 31/731 | ・ ・ ・ カラギーナン[7] |
| 31/7125 | ・ ・ ・ 修飾されたヌクレオシド間の結合, すなわち 3' - 5' ホスホジエステル結合以外の結合を持つ核酸又はオリゴヌクレ | 31/732 | ・ ・ ・ ペクチン[7] |
| | | 31/733 | ・ ・ ・ フルクトサン, 例. イヌリン[7] |
| | | 31/734 | ・ ・ ・ アルギン酸[7] |
| | | 31/736 | ・ ・ ・ グルコマンナンまたはガラクトマンナン, 例. ローカストビーンガム, グアーガム[7] |
| | | 31/737 | ・ ・ ・ 硫酸化多糖, 例. コンドロイチン硫酸, デルマタン硫酸 (A61K31/727 が優先) [7] |
| | | 31/738 | ・ ・ ・ 交差結合多糖[7] |
| | | 31/739 | ・ ・ ・ リポ多糖[7] |
| | | 31/74 | ・ 合成の重合材料[2] |
| | | 31/745 | ・ ・ 炭化水素の重合体[2] |
| | | 31/75 | ・ ・ ・ エテンの重合体[2] |
| | | 31/755 | ・ ・ ハロゲンを含有する重合体[2] |
| | | 31/76 | ・ ・ ・ 塩化ビニルの重合体[2] |
| | | 31/765 | ・ ・ 酸素を含有する重合体[2] |
| | | 31/77 | ・ ・ ・ オキシランの重合体[2] |
| | | 31/775 | ・ ・ ・ フェノール樹脂[2] |
| | | 31/78 | ・ ・ ・ アクリル酸またはその誘導体の重合体[2] |
| | | 31/785 | ・ ・ 窒素を含有する重合体[2] |
| | | 31/787 | ・ ・ ・ 環構成異種原子として窒素を持つ複素環を含むもの[7] |
| | | 31/79 | ・ ・ ・ ビニルピロリドンの重合体[2] |
| | | 31/795 | ・ ・ 硫黄を含有する重合体[2] |
| | | 31/80 | ・ ・ グループ A61K31/755-A61K31/795 に属さないヘテロ原子を含有する重合体[2] |

| | |
|--------|---|
| 33/00 | 無機活性成分を含有する医薬品製剤 [2006. 01] |
| 33/02 | ・アンモニア;その化合物[2006. 01] |
| 33/04 | ・硫黄, セレンまたはテルル, それらの化合物[2006. 01] |
| 33/06 | ・アルミニウム, カルシウムまたはマグネシウム;それらの化合物[2006. 01] |
| 33/08 | ・・酸化物;水酸化物[2006. 01] |
| 33/10 | ・・炭酸塩;重炭酸塩[2006. 01] |
| 33/12 | ・・けい酸マグネシウム[2006. 01] |
| 33/14 | ・アルカリ金属の塩化物;アルカリ土類金属の塩化物[2006. 01] |
| 33/16 | ・ふっ素化合物[2006. 01] |
| 33/18 | ・沃素;その化合物[2006. 01] |
| 33/20 | ・塩素;塩素を放出する無機化合物 [2006. 01] |
| 33/22 | ・ほう素化合物[2006. 01] |
| 33/24 | ・重金属;その化合物[2019. 01] |
| 33/241 | ・・鉛;その化合物[2019. 01] |
| 33/242 | ・・金;その化合物[2019. 01] |
| 33/243 | ・・白金;その化合物[2019. 01] |
| 33/244 | ・・ランタニド;その化合物(生体内での治療または検査に用いる放射性ランタニドを含有する医薬品製剤 A61K51/00) [2019. 01] |
| 33/245 | ・・ビスマス;その化合物[2019. 01] |
| 33/26 | ・・鉄;その化合物[2006. 01] |
| 33/28 | ・・水銀;その化合物[2006. 01] |
| 33/30 | ・・亜鉛;その化合物[2006. 01] |
| 33/32 | ・・マンガン;その化合物[2006. 01] |
| 33/34 | ・・銅;その化合物[2006. 01] |
| 33/36 | ・・ひ素;その化合物[2006. 01] |
| 33/38 | ・・銀;その化合物[2006. 01] |
| 33/40 | ・過酸化物[2006. 01] |
| 33/42 | ・りん;その化合物[2006. 01] |
| 33/44 | ・炭素, 例. 木炭, カーボンブラック [2006. 01] |
| 35/00 | 構造未知の物質またはその反応生成物を含有する医薬品製剤[2] |

注

(1) このグループでは, 各活性成分または物質について分類する。各活性成分または物質は, 最後の適切な箇所に分類される。
[2015. 01]

注

(2) このグループに分類するとき, クロマトグラフィーに関する一般分野の主題事項が関係している限り, グループ B01D15/08 にも分類する。[8]

| | |
|-------|--|
| 35/02 | ・無生物体からのもの (炭素 A61K33/44) [2, 2015. 01] |
| 35/04 | ・・タール;ピチューメン;鉱油;ピチューミノスルホン酸アンモニウム[2] |
| 35/06 | ・・・鉱油, 例. パラフィン油または芳香族炭化水素に基づく芳香族油[2] |

| | |
|-------|---|
| 35/08 | ・・鉱泉;海水[2, 2015. 01] |
| 35/10 | ・・泥炭;琥珀;泥炭塊;腐植土[2, 2015. 01] |
| 35/12 | ・哺乳動物からの物質;特定されていない組織または細胞からなる組成物;非胚性幹細胞からなる組成物;遺伝子的に修飾された細胞 (ワクチンまたは抗原または抗体を含有する医薬品製剤 A61K39/00) [2015. 01] |

注

・細胞が特徴づけられている場合, 対応する組織または由来する組織を包含するグループに分類される。[2015. 01]

| | |
|-------|---|
| 35/13 | ・・由来する組織を問わない腫瘍細胞 (腫瘍ワクチン A61K39/00) [2015. 01] |
| 35/14 | ・・血液;人工血液 (パーフルオロカーボン A61K31/02; 臍帯血 A61K35/51; ヘモグロビン A61K38/42) [2, 2015. 01] |
| 35/15 | ・・・骨髄性細胞, 例. 顆粒球, 好塩基球, 好酸球, 好中球, 白血球, 単球, マクロファージまたはマスト細胞;骨髄前駆細胞;抗原提示細胞, 例. 樹状細胞 (特定の抗原を提示しているもの A61K39/00; 治療のための抗体またはそのフラグメントと血液由来細胞の組み合わせ A61K39/00) [2015. 01] |
| 35/16 | ・・・血漿;血清 (臍帯血 A61K35/51) [2, 2015. 01] |
| 35/17 | ・・・リンパ球;B 細胞;T 細胞;ナチュラルキラー細胞;インターフェロン活性化またはサイトカイン活性化リンパ球 (特定の抗原により活性化される場合 A61K39/00) [2015. 01] |
| 35/18 | ・・・赤血球 (ヘモグロビン A61K38/42) [2, 2015. 01] |
| 35/19 | ・・・血小板;巨核球[2015. 01] |
| 35/20 | ・・乳;ホエイ;初乳[2] |
| 35/22 | ・・尿;尿路, 例. 腎臓または膀胱;糸球体内メサンギウム細胞;腎間葉細胞;副腎 [2, 2015. 01] |
| 35/24 | ・・粘液;粘液腺;滑液のう;滑液;関節液;腺分泌;脊髄液 (唾液 A61K35/38) [2, 2015. 01] |
| 35/26 | ・・リンパ;リンパ節;胸腺;脾臓;脾臓細胞;胸腺細胞[2, 2015. 01] |
| 35/28 | ・・骨髄;造血幹細胞;由来を問わない間葉系幹細胞, 例. 脂肪由来幹細胞 [2, 2015. 01] |
| 35/30 | ・・神経;脳;眼;角膜細胞;脳脊髄液;神経幹細胞;神経前駆細胞;グリア細胞;オリゴデンドロサイト細胞;シュワン細胞;星状膠細胞;星状細胞;脈絡集網;脊髄組織 [2, 2015. 01] |
| 35/32 | ・・骨;骨細胞;骨芽細胞;腱;腱細胞;歯;象牙芽細胞;軟骨;軟骨細胞;滑膜 [2, 2015. 01] |

- 35/33 ・ ・ 線維芽細胞[2015. 01]
- 35/34 ・ ・ 筋肉;平滑筋細胞;心臓;心筋幹細胞;筋芽細胞;筋細胞;心筋細胞 (血管平滑筋 A61K35/44) [2, 2015. 01]
- 35/35 ・ ・ 脂肪組織;脂肪細胞;間質細胞;結合組織 (脂肪由来幹細胞 A61K35/28;コラーゲン A61K38/39) [2015. 01]
- 35/36 ・ ・ 皮膚;頭髮;爪;皮脂腺;耳垢;表皮;上皮細胞;ケラチノサイト;ランゲルハンス細胞;外胚葉細胞 (ランゲルハンス島 A61K35/39) [4, 2015. 01]
- 35/37 ・ ・ 消化器官[3, 2015. 01]
- 35/38 ・ ・ ・ 胃;腸;杯状細胞;口腔粘膜;唾液[3, 2015. 01]
- 35/39 ・ ・ ・ 脾臓;ランゲルハンス島 (上皮のランゲルハンス細胞 A61K35/36) [3, 2015. 01]
- 35/407 ・ ・ ・ 肝臓;肝細胞[3, 2015. 01]
- 35/413 ・ ・ ・ 胆嚢;胆汁[3, 2015. 01]
- 35/42 ・ ・ 呼吸器官, 例. 肺, 気管支または肺細胞[2, 2015. 01]
- 35/44 ・ ・ 管;血管平滑筋細胞;内皮細胞;内皮前駆細胞[2, 2015. 01]
- 35/48 ・ ・ 生殖器[2, 2015. 01]
- 35/50 ・ ・ ・ 胎盤;胎盤幹細胞;羊水;羊膜;羊膜幹細胞[2, 2015. 01]
- 35/51 ・ ・ ・ 臍帯;臍帯血;臍帯幹細胞[2015. 01]
- 35/52 ・ ・ ・ 精子;前立腺;精液;精巣のライディッシュ細胞[2, 2015. 01]
- 35/54 ・ ・ ・ 卵巣;卵子;未受精卵;胚;胎児細胞;生殖細胞[2, 2015. 01]
- 35/545 ・ ・ ・ 胚性幹細胞;多能性幹細胞;人工多能性幹細胞, すなわち, iPS 細胞;特徴づけられていない幹細胞[2015. 01]
- 35/55 ・ ・ グループ A61K35/22-A61K35/545 に分類されない腺, 例. 甲状腺, 副甲状腺または松果腺[3, 2015. 01]
- 35/56 ・ 哺乳動物以外の動物からの物質[2, 2015. 01]
- 35/57 ・ ・ 鳥類;鳥類からの物質, 例. 卵, 羽毛, 卵白, 卵黄または鶏内金[2015. 01]
- 35/58 ・ ・ 爬虫類 (蛇からの抗原 A61K39/38) [2, 2015. 01]
- 35/583 ・ ・ ・ 蛇;トカゲ, 例. カメレオン (蛇毒蛋白質の治療への使用 A61K38/00) [2015. 01]
- 35/586 ・ ・ ・ ウミガメ;陸ガメ, 例. キスイガメ[2015. 01]
- 35/60 ・ ・ 魚類, 例. タツノオトシゴ;魚卵[2]
- 35/612 ・ ・ 甲殻類, 例. カニ, ロブスター, エビ, オキアミまたはザリガニ;フジツボ[2015. 01]
- 35/614 ・ ・ 刺胞動物, 例. イソギンチャク, サンゴ, サンゴ虫またはクラゲ[2015. 01]
- 35/616 ・ ・ 棘皮動物, 例. ヒトデ, ナマコまたはウニ[2015. 01]
- 35/618 ・ ・ 軟体動物, 例. 淡水軟体動物, カキ, 二枚貝, イカ, タコ, コウイカ, 巻き貝またはナメクジ[2015. 01]
- 35/62 ・ ・ ひる;蠕虫, 例. 条虫綱, サナダムシ, 線虫, 回虫, ミミズ, 回虫類, フィラリア, 鉤虫, 旋毛虫または条虫類[2]
- 35/63 ・ ・ 節足動物 (水棲甲殻類 A61K35/612) [2015. 01]
- 35/64 ・ ・ ・ 昆虫, 例. 蜂, スズメバチまたはノミ[2, 2015. 01]
- 35/644 ・ ・ ・ ・ みつろう;プロポリス;ロイヤルゼリー;はちみつ[2015. 01]
- 35/646 ・ ・ ・ クモ形類動物, 例. クモ, サソリ, 大型ダニまたは小型ダニ[2015. 01]
- 35/648 ・ ・ ・ 多足類, 例. ムカデまたはヤスデ[2015. 01]
- 35/65 ・ ・ 両生類, 例. ヒキガエル, カエル, サンショウオオまたはイモリ[2015. 01]
- 35/655 ・ ・ グループ A61K35/57-A61K35/65 に分類されない水棲生物[2015. 01]
- 35/66 ・ 微生物または微生物からの物質 (菌類, 酵母またはカンジダ菌 A61K36/06) [2, 2015. 01]
- 35/68 ・ ・ 原生動物, 例. 鞭毛虫, アメーバ, 孢子虫, プラズモジウムまたはトキソプラズマ[2]
- 35/74 ・ ・ バクテリア (バクテリア蛋白質の治療への使用 A61K38/00) [2, 2015. 01]
- A 菌体全体
- B 菌体部分
- C 菌体全体及び菌体部分
- D 菌体内物質
- E 抗生物質
- F ・ 医薬用途の特定された抗生物質
- G A61K35/74@A-A61K35/74@F に分類されない培養液由来物質
- Z その他のもの
- 35/741 ・ ・ ・ 腸内有益菌 (腸内酵母, 例. サッカロミセス A61K36/06) [2015. 01]
- 35/742 ・ ・ ・ 芽胞形成菌, 例. バチラスコアグランス, 枯草菌, クロストリジウム属または有孢子性乳酸菌[2015. 01]
- 35/744 ・ ・ ・ ・ 乳酸菌, 例. エンテロコッカス属, ペディオコッカス属, ラクトコッカス属, 連鎖球菌またはリューコノストック属[2015. 01]
- 35/745 ・ ・ ・ ・ ・ ビフィドバクテリウム属[2015. 01]
- 35/747 ・ ・ ・ ・ ・ ラクトバシラス属, 例. アシドフィルス菌またはブレビス菌[2015. 01]
- 35/748 ・ ・ ・ シアノバクテリア, すなわち藍染細菌または藍藻類, 例. スピルリナ (藻類, 微細藻類または微細植物 A61K36/02) [2015. 01]

| | | | |
|--|--|--------|---|
| 35/76 | ・ ウイルス; サブウイルス粒子; バクテリ オファージ[2, 2015. 01] | | |
| 35/761 | ・ ・ ・ アデノウイルス[2015. 01] | 36/23 | ・ ・ ・ セリ科, 例. デイル, チャービル, コリ アンダまたはクミン[8] |
| 35/763 | ・ ・ ・ ヘルペスウイルス[2015. 01] | 36/232 | ・ ・ ・ ・ シシウド属[8] |
| 35/765 | ・ ・ ・ レオウイルス; ロタウイルス[2015. 01] | 36/233 | ・ ・ ・ ・ ミシマサイコ属[8] |
| 35/766 | ・ ・ ・ ラブドウイルス, 例. 水疱性口内炎ウ イルス[2015. 01] | 36/234 | ・ ・ ・ ・ ハマゼリ属[8] |
| 35/768 | ・ ・ ・ グループ A61K35/761-A61K35/766 に 分類されない腫瘍溶解性ウイルス [2015. 01] | 36/235 | ・ ・ ・ ・ ウイキョウ属[8] |
| 36/00 | 藻類, 地衣類, 菌類もしくは植物またはそれ らの派生物からの物質を含有する構造未 知の医薬品製剤, 例. 伝統的生薬[8] | 36/236 | ・ ・ ・ ・ マルバトウキ属[8] |
| 注 | | 36/237 | ・ ・ ・ ・ キョウカツ[8] |
| (1) このグループにおいては, 植物の一般名称は, それが記載 されている場合は, これに相当するラテン語名に続いてかっこ で括って表記される。[8] | | 36/238 | ・ ・ ・ ・ ボウフウ[8] |
| 注 | | 36/24 | ・ ・ ・ キョウチクトウ科, 例. プルメリアま たはツルニチソウ |
| (2) このグループにおいては, インデキシングコード A61K125/00-A61K135/00 を付加することが望ましい。[8] | | 36/25 | ・ ・ ・ ウコギ科, 例. アイヴィー, タラノキ, シェフレラまたはカミヤツデ[8] |
| 36/02 | ・ 藻類[8] | 36/254 | ・ ・ ・ ・ ウコギ属[8] |
| 36/03 | ・ ・ 褐藻植物, 例. ヒバマタ[8] | 36/258 | ・ ・ ・ ・ オタネニンジン属[8] |
| 36/04 | ・ ・ 紅藻植物, 例. ノリ[8] | 36/26 | ・ ・ ・ ウマノスズクサ科, 例. カンアオイ[8] |
| 36/05 | ・ ・ 緑藻植物, 例. クロレラ[8] | 36/264 | ・ ・ ・ ・ ウマノスズクサ属[8] |
| 36/06 | ・ 菌類, 例. 酵母[8] | 36/268 | ・ ・ ・ ・ フタバアオイ属[8] |
| A | 高等真菌 | 36/27 | ・ ・ ・ ガガイモ科, 例. サクララン[8] |
| Z | その他 | 36/28 | ・ ・ ・ キク科, 例. カモミール, ナツシロギク, ノコギリソウまたはエキナセア[8] |
| 36/062 | ・ ・ 子囊菌[8] | 36/282 | ・ ・ ・ ・ ヨモギ属, 例. ヨモギまたはヤマヨ モギ[8] |
| 36/064 | ・ ・ ・ サッカロミケス科, 例. パン酵母[8] | 36/284 | ・ ・ ・ ・ オケラ属[8] |
| 36/066 | ・ ・ ・ バッカクキン科[8] | 36/285 | ・ ・ ・ ・ 唐木香[8] |
| 36/068 | ・ ・ ・ ・ 冬虫夏草属[8] | 36/286 | ・ ・ ・ ・ ベニバナ属[8] |
| 36/07 | ・ ・ 担子菌, 例. 担子菌酵母[8] | 36/287 | ・ ・ ・ ・ キク属, 例. ヒナギク[8] |
| 36/074 | ・ ・ ・ 霊芝[8] | 36/288 | ・ ・ ・ ・ タンポポ属[8] |
| 36/076 | ・ ・ ・ ブクリョウ[8] | 36/289 | ・ ・ ・ ・ 川木香[8] |
| 36/09 | ・ 地衣類[8] | 36/29 | ・ ・ ・ メギ科, 例. メギ, ショウマまたはアメ リカミヤオソウ[8] |
| 36/10 | ・ コケ植物門[8] | 36/296 | ・ ・ ・ ・ イカリソウ属[8] |
| 36/11 | ・ シダ植物門[8] | 36/30 | ・ ・ ・ ムラサキ科, 例. コンフリー, ラングワ ートまたはワスレナグサ[8] |
| 36/12 | ・ ・ シダ綱[8] | 36/31 | ・ ・ ・ アブラナ科, 例. ブロッコリー, キャベ ツまたはコールラビ[8] |
| 36/126 | ・ ・ ・ ドリナリア科[8] | 36/315 | ・ ・ ・ ・ タイセイ属, 例. ホソバタイセイ[8] |
| 36/13 | ・ 球果植物門[8] | 36/32 | ・ ・ ・ カンラン科[8] |
| 36/14 | ・ ・ ヒノキ科, 例. ビャクシンまたはイトス ギ[8] | 36/324 | ・ ・ ・ ・ ボスヴェリア, 例. 乳香[8] |
| 36/15 | ・ ・ マツ科, 例. マツまたはヒマラヤスギ[8] | 36/328 | ・ ・ ・ ・ コミフォラ属, 例. 没薬またはギリ アドバルサム[8] |
| 36/16 | ・ イチョウ門, 例. イチョウ科[8] | 36/33 | ・ ・ ・ サボテン科, 例. ウチワサボテンまた はハシラサボテン |
| 36/17 | ・ マオウ門, 例. マオウ科[8] | 36/34 | ・ ・ ・ キキョウ科[8] |
| 36/18 | ・ 被子植物門[8] | 36/342 | ・ ・ ・ ・ ツリガネニンジン属[8] |
| 36/185 | ・ ・ モクレン綱 (双子葉植物) [8] | 36/344 | ・ ・ ・ ・ ツルニンジン属[8] |
| 36/19 | ・ ・ ・ キツネノマゴ科[8] | 36/346 | ・ ・ ・ ・ キキョウ属[8] |
| 36/195 | ・ ・ ・ ・ イセハナビ属[8] | 36/35 | ・ ・ ・ スイカズラ科[8] |
| 36/20 | ・ ・ ・ カエデ科[8] | 36/355 | ・ ・ ・ ・ スイカズラ属[8] |
| 36/21 | ・ ・ ・ ヒユ科, 例. アオゲイトウ, ロックワー トまたはセンニチコウ[8] | 36/36 | ・ ・ ・ ナデシコ科, 例. カスミソウまたはサ ボンソウ[8] |
| 36/22 | ・ ・ ・ ウルシ科, 例. ハグマノキ, ウルシまた | 36/37 | ・ ・ ・ ニシキギ科, 例. クロズルまたはオウ |

A 6 1 K

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| | シュウニシキギ[8] | 36/57 | ・・・モクレン科[8] |
| 36/38 | ・・・オトギリソウ科（ヒペリカムまたはマンゴスチン科），例. コモン・セントジョーンズワート[8] | 36/575 | ・・・モクレン属[8] |
| 36/39 | ・・・ヒルガオ科，例. ヒルガオ[8] | 36/58 | ・・・センダン科，例. インドセンダン（ニーム）[8] |
| 36/40 | ・・・ミズキ科[8] | 36/59 | ・・・ツツラフジ科，例. アオツツラフジまたはコーラルビーズ[8] |
| 36/41 | ・・・ベンケイソウ科[8] | 36/60 | ・・・クワ科，例. パンノキまたはイチジク[8] |
| 36/42 | ・・・ウリ科[8] | 36/605 | ・・・クワ属[8] |
| 36/424 | ・・・アマチャズル属[8] | 36/61 | ・・・フトモモ科，例. ティーツリーまたはユーカリ[8] |
| 36/428 | ・・・カラスウリ属[8] | 36/62 | ・・・スイレン科[8] |
| 36/43 | ・・・ネナシカズラ科，例. ネナシカズラまたはクシロネナシカズラ[8] | 36/63 | ・・・モクセイ科，例. ジャスミン，ライラックまたはネリコノキ[8] |
| 36/44 | ・・・カキノキ科，例. カキ[8] | 36/634 | ・・・レンギョウ属[8] |
| 36/45 | ・・・ツツジ科またはコケモモ科，例. ブルーベリー，クランベリーまたはビルベリー[8] | 36/638 | ・・・イボタノキ属，例. トウネズミモチ[8] |
| 36/46 | ・・・トチュウ科，例. トチュウ[8] | 36/64 | ・・・ハマウツボ科[8] |
| 36/47 | ・・・トウダイグサ科，例. ヒマ（トウゴマ）[8] | 36/65 | ・・・ボタン科，例. シャクヤク[8] |
| 36/48 | ・・・マメ科；ジャケツイバラ科；ネムノキ科；蝶形花亜科[8] | 36/66 | ・・・ケシ科，例. アカネグサ[8] |
| 36/481 | ・・・ゲンゲ属[8] | 36/67 | ・・・コショウ科，例. ジャマイカンペッパーまたはカバ[8] |
| 36/482 | ・・・カワラケツメ属，例. ナンバンサイカチ[8] | 36/68 | ・・・オオバコ科[8] |
| 36/483 | ・・・サイカチ属[8] | 36/69 | ・・・ヒメハギ科[8] |
| 36/484 | ・・・カンゾウ属[8] | 36/70 | ・・・タデ科，例. スピンフラワーまたはギンギシ[8] |
| 36/485 | ・・・ペイコウタイ属[8] | 36/704 | ・・・タデ属，例. タデ[8] |
| 36/486 | ・・・ナツフジ属[8] | 36/708 | ・・・ダイオウ属[8] |
| 36/487 | ・・・オランダビユ属[8] | 36/71 | ・・・キンボウゲ科，例. ヒエンソウ，スハマルソウ，ヒドラスチス，オダマキまたはゴールデンシール[8] |
| 36/488 | ・・・クズ属[8] | 36/714 | ・・・トリカブト属[8] |
| 36/489 | ・・・クララ属，例. イソフジまたはママネ[8] | 36/716 | ・・・センニンソウ属[8] |
| 36/49 | ・・・ブナ科，例. カシまたはトチ[8] | 36/718 | ・・・オウレン属[8] |
| 36/50 | ・・・ケマンソウ科，例. コマクサ[8] | 36/72 | ・・・クロウメモドキ科，例. クロウメモドキ，ハブラシノキまたはカサノキ[8] |
| 36/505 | ・・・キケマン属[8] | 36/725 | ・・・ナツメ属，例. ナツメ[8] |
| 36/51 | ・・・リンドウ科[8] | 36/73 | ・・・バラ科，例. イチゴ，チョコベリー，クロイチゴ，ナシまたはトキワサンザシ[8] |
| 36/515 | ・・・リンドウ属[8] | 36/732 | ・・・ボケ属，例. ボケ[8] |
| 36/52 | ・・・クルミ科[8] | 36/734 | ・・・サンザシ属[8] |
| 36/53 | ・・・シソ科，例. タイム，ローズマリーまたはラベンダー[8] | 36/736 | ・・・サクラ属，例. スモモ，サクランボ，モモ，アンズまたはアーモンド[8] |
| 36/532 | ・・・カワミドリ属，例. アガズタケ[8] | 36/738 | ・・・バラ属[8] |
| 36/533 | ・・・メハジキ属[8] | 36/739 | ・・・ワレモコウ属[8] |
| 36/534 | ・・・ハッカ属[8] | 36/74 | ・・・アカネ科[8] |
| 36/535 | ・・・シソ属[8] | 36/744 | ・・・クチナシ属[8] |
| 36/536 | ・・・ウツボグサ属[8] | 36/746 | ・・・ヤエヤマアオキ属[8] |
| 36/537 | ・・・サルビア属[8] | 36/748 | ・・・フタバムグラ属[8] |
| 36/538 | ・・・ケイガイ属[8] | 36/75 | ・・・ミカン科[8] |
| 36/539 | ・・・タツナミソウ属[8] | 36/752 | ・・・ミカン属，例. ライム，オレンジまたはレモン[8] |
| 36/54 | ・・・クスノキ科，例. シナモンまたはサッサfras[8] | 36/754 | ・・・ゴシユ属[8] |
| 36/55 | ・・・アマ科，例. アマ[8] | | |
| 36/56 | ・・・ホウライカズラ科，例. ノウゼンカズラまたはセッコソウ[8] | | |

- 36/756 ・・・・キハダ属, 例. キハダ[8]
 36/758 ・・・・サンショウ属, 例. サンショウ[8]
 36/76 ・・・・ヤナギ科, 例. ポプラ[8]
 36/77 ・・・・ムクロジ科, 例. ライチまたはムクロジ[8]
 36/78 ・・・・ドクダミ科[8]
 36/79 ・・・・マツブサ科[8]
 36/80 ・・・・ゴマノハグサ科[8]
 36/804 ・・・・ジオウ属[8]
 36/808 ・・・・ゴマノハグサ属[8]
 36/81 ・・・・ナス科, 例. タバコ, イヌホウズキ, トマト, ベラドンナ, トウガラシまたはチョウセンアサガオ[8]
 36/815 ・・・・クコ属[8]
 36/82 ・・・・ツバキ科, 例. ツバキ[8]
 36/83 ・・・・ジンチョウゲ科, 例. カワノキまたはフォルス・オヘロ[8]
 36/835 ・・・・ジンコウ属[8]
 36/84 ・・・・オミナエシ科, 例. カノコソウ[8]
 36/85 ・・・・クマツヅラ科[8]
 36/855 ・・・・クサギ属, 例. クサギ[8]
 36/86 ・・・・スミレ科[8]
 36/87 ・・・・ブドウ科, 例. ヨーロッパブドウ, マスカダインまたはペパー・バイン[8]
 36/88 ・・・・ユリ綱 (単子葉植物) [8]
 36/882 ・・・・ショウブ科, 例. スイートフラッグまたはショウブ[8]
 36/884 ・・・・オモダカ科[8]
 36/886 ・・・・アロエ科, 例. アロエ・ベラ[8]
 36/888 ・・・・サトイモ科, 例. カラジウム, カイウまたはミズバショウ[8]
 36/8884 ・・・・テンナンショウ属, 例. マムシグサ[8]
 36/8888 ・・・・ハンゲ属[8]
 36/889 ・・・・ヤシ科, 例. ナツメヤシ若しくはココヤシの木またはパルメット[8]
 36/8895 ・・・・トウ属, 例. トウ[8]
 36/89 ・・・・カヤツリグサ科[8]
 36/8905 ・・・・シペラス属[8]
 36/894 ・・・・ヤマノイモ科[8]
 36/8945 ・・・・ヤムイモ, 例. ヤム, ナガイモまたはダイジョ[8]
 36/896 ・・・・ユリ科, 例. ゼンテイカ, ギボウシ, ヒヤシンスまたはスイセン[8]
 36/8962 ・・・・ネギ属, 例. 栽培用タマネギ, ネギ, ニンニクまたはチャイブ[8]
 36/8964 ・・・・ハナスゲ[8]
 36/8965 ・・・・アスパラガス, 例. 栽培用アスパラガスまたはシノブボウキ[8]
 36/8966 ・・・・バイモ属, 例. ヨウラクユリまたはミッションベル[8]
 36/8967 ・・・・ユリ属, 例. オニユリまたはテッポウユリ[8]
 36/8968 ・・・・ジャノヒゲ属[8]
 36/8969 ・・・・アマドコロ属[8]
 36/898 ・・・・ラン科[8]
 36/8984 ・・・・セッコク属[8]
 36/8988 ・・・・オニノヤガラ属[8]
 36/899 ・・・・イネ科, 例. タケ, トウモロコシまたはサトウキビ[8]
 36/8994 ・・・・ジュズダマ属[8]
 36/8998 ・・・・オオムギ属[8]
 36/90 ・・・・サルトリイバラ科, 例. サルトリイバラまたはサルサパリラ[8]
 36/902 ・・・・ミクリ科[8]
 36/904 ・・・・ビャクブ科, 例. ナベワリ[8]
 36/906 ・・・・ショウガ科[8]
 36/9062 ・・・・ハナミショウガ属, 例. レッドジンジャーまたはリョウキョウ[8]
 36/9064 ・・・・アモナム属, 例. ラウンドカルダモン[8]
 36/9066 ・・・・ウコン属, 例. コモン・ターメリック, 東インドアロールートまたはマンゴー・ジンジャー[8]
 36/9068 ・・・・ショウガ属, 例. 栽培用ショウガ[8]
 38/00 ペプチドを含有する医療製剤 (β -ラクタム環含有ペプチド A61K31/00; 環状ジペプチドであって, その分子中にその環を形成するペプチド結合以外のペプチド結合を有しないもの, 例. ピペラジン-2,5-ジオン A61K31/00; エルゴリンに基づくペプチド A61K31/48; 分子中に統計学的に分布されているアミノ酸単位を有する高分子化合物を含有するもの A61K31/74; 抗原または抗体を含有する医療製剤 A61K39/00; 不活性成分に特徴のある医療製剤, 例. 薬剤担体としてのペプチド, A61K47/00) [2006. 01]

注

(1) このグループで使用する用語や表現はサブクラス C07K のタイトルに続く (注) 1 の定義に厳密に従ったものである。[6]

注

(2) ペプチド断片を含む製剤, あるいはアミノ酸の除去や付加によって, またはアミノ酸の他のものへの置換によって, もしくはこうした修飾物の組合わせによって修飾されたペプチドを含む製剤は, 親ペプチドを含む製剤として分類する。ただし 4 以下のアミノ酸しか持たないペプチド断片を含む製剤は, グループ 38/05-38/07 にも分類する。[6]

注

(3) 組換え DNA 技術によって製造されたペプチドを含む製剤は, ホストではなく発現させた元のペプチドに基づいて分類する, 例. 大腸菌の中で発現させた HIV ペプチドを含む製剤は HIV ペプチドを含む製剤に分類する [6]

38/01 ・加水分解した蛋白質; その誘導体 [2006. 01]

A 6 1 K

38/02 ・不確定数のアミノ酸のペプチド;その誘導体[2006. 01]

38/03 ・不確定配列または部分的にのみ確定した配列中にの 20 以下のアミノ酸をもつペプチド;その誘導体[2006. 01]

38/04 ・完全に確定した配列中にの, 20 以下のアミノ酸をもつペプチド;その誘導体 (ガストリン A61K38/16, ソマトスタチン A61K38/31, メラノトロピン A61K38/34) [2006. 01]

38/05 ・ジペプチド[2006. 01]

38/06 ・トリペプチド[2006. 01]

38/07 ・テトラペプチド[2006. 01]

38/08 ・5-11 のアミノ酸をもつペプチド [2019. 01]

38/09 ・黄体形成ホルモン放出ホルモン[LHRH]; 関連ペプチド[2006. 01]

38/095 ・オキシトシン;バソプレシン;関連ペプチド[2019. 01]

38/10 ・12-20 のアミノ酸をもつペプチド [2006. 01]

38/12 ・環状ペプチド[2006. 01]

38/13 ・サイクロスポリン[2006. 01]

38/14 ・糖類基を含有するペプチド;その誘導体 [2006. 01]

38/15 ・デプシペプチド;その誘導体[2006. 01]

38/16 ・21 以上のアミノ酸をもつペプチド;ガストリン;ソマトスタチン;メラノトロピン;その誘導体[2006. 01]

100 ・凝集素

200 ・プロテアーゼ阻害剤を除く, 蛋白性の酵素阻害剤

38/17 ・動物由来;ヒト由来[2006. 01]

100 ・グロブリン

38/18 ・成長因子;成長調節因子[2006. 01]

38/19 ・サイトカイン;リンフォカイン;インターフェロン[2006. 01]

38/20 ・インターロイキン[2006. 01]

38/21 ・インターフェロン[2006. 01]

38/22 ・ホルモン (プロオピオメラノコルチン, プロエンケファリンまたはプロダイノルフィンから誘導したもの A61K38/33, 例. コルチコトロピン A61K38/35) [2006. 01]

38/23 ・カルシトニン[2006. 01]

38/24 ・卵胞刺激ホルモン[FSH];絨毛性性腺刺激ホルモン, 例. HCG;黄体形成ホルモン[LH];甲状腺刺激ホルモン[TSH] [6]

38/25 ・成長ホルモン放出因子[GHRF], すなわちソマトリベリン[2006. 01]

38/26 ・グルカゴン[2006. 01]

38/27 ・成長ホルモン[GH], すなわちソマトトロピン[2006. 01]

38/28 ・インシュリン[2006. 01]

38/29 ・副甲状腺ホルモン, すなわちパラトルモン;副甲状腺ホルモン関連ペプチド [2006. 01]

38/30 ・インシュリン様成長因子, すなわちソマトメジン, 例. IGF - 1, IGF - 2[2006. 01]

38/31 ・ソマトスタチン[2006. 01]

38/32 ・チモポイエチン[2006. 01]

38/33 ・プロオピオメラノコルチン, プロエンケファリンまたはプロダイノルフィンから誘導したもの[2006. 01]

38/34 ・メラノサイト刺激ホルモン[MSH], 例. α -メラノトロピンまたは β -メラノトロピン[6]

38/35 ・コルチコトロピン[ACTH] [6]

38/36 ・血液凝固または繊維素溶解因子 [2006. 01]

38/37 ・第 VIII 因子[2006. 01]

38/38 ・アルブミン[2006. 01]

38/39 ・結合組織ペプチド, 例. コラーゲン, エラスチン, ラミニン, フィブロネクチン, ビトロネクチン, 寒冷不溶性グロブリン [CIG] [6]

38/40 ・トランスフェリン, 例. ラクトフェリン, オボトランスフェリン[2006. 01]

38/41 ・ポルフィリン環含有ペプチド, またはコリン環含有ペプチド[2006. 01]

38/42 ・ヘモグロビン;ミオグロビン[2006. 01]

38/43 ・酵素;酵素前駆体;それらの誘導体 [2006. 01]

注

・このグループにおいては:

注

・一酵素前駆体は対応する酵素に分類する;

注

・一酵素は一般に国際酵素委員会の“酵素の命名および分類法”に従って分類する。該当する分類は以下のサブグループにおいて括弧内に表示する。[6]

38/44 ・酸化還元酵素 (1) [2006. 01]

38/45 ・トランスフェラーゼ (2) [2006. 01]

38/46 ・加水分解酵素 (3) [2006. 01]

38/47 ・グリコシル化合物に作用するもの (3.2), 例. セルラーゼ, ラクターゼ [2006. 01]

38/48 ・ペプチド結合に作用するもの (3.4) [2006. 01]

100 ・セリン蛋白質分解酵素, 例. トリプシン

110 ・カリクレイン

38/49 ・ウロキナーゼ;組織プラスミノゲン活性化因子[2006. 01]

38/50 ・ペプチド結合以外の炭素-窒素結

| | | | |
|-------|--|--------|---|
| | 合に作用するもの (3. 5) , 例. アスパラギナーゼ [2006. 01] | 39/102 | ・ ・ パスツレラ属;ヘモフィラス属 [3] |
| 38/51 | ・ ・ ・ リアーゼ (4) [2006. 01] | 39/104 | ・ ・ シュードモナス属 [3] |
| 38/52 | ・ ・ ・ イソメラーゼ (5) [2006. 01] | 39/106 | ・ ・ ビブリオ;カンピロバクター [3] |
| 38/53 | ・ ・ ・ リガーゼ (6) [2006. 01] | 39/108 | ・ ・ エシエリヒア属;クレブシエラ属 [3] |
| 38/54 | ・ ・ ・ A61K38/44-A61K38/46, または A61K38/51-A61K38/53 の, 2 以上のグループに分類される酵素または酵素前駆体の混合物 [2006. 01] | 39/112 | ・ ・ サルモネラ属;シゲラ属 [3] |
| 38/55 | ・ ・ プロテアーゼ阻害剤 [2006. 01] | 39/114 | ・ ・ フゾバクテリウム属 [3] |
| 38/56 | ・ ・ ・ 植物由来 [2006. 01] | 39/116 | ・ ・ 多価バクテリア抗原 [3] |
| 38/57 | ・ ・ ・ 動物由来;ヒト由来 [2006. 01] | 39/118 | ・ クラミジア, 例. トラコーマクラミジアまたはオウム病クラミジア [3] |
| 38/58 | ・ ・ ・ ・ ヒル由来, 例. ヒルジン, エグリン [2006. 01] | 39/12 | ・ ウイルス抗原 [2] |
| 39/00 | 抗原または抗体を含有する医薬品製剤 (免疫分析用物質 G01N33/53) [2] | 39/125 | ・ ・ ピコルナウイルス科, 例. カリシウィルス [3] |
| A | 抗原に関する共通技術 | 39/13 | ・ ・ ・ ポリオウィルス [3] |
| B | ・ 培養 | 39/135 | ・ ・ ・ 口蹄疫ウィルス [3] |
| C | ・ 不溶化 | 39/145 | ・ ・ オルソミクソウィルス科, 例. インフルエンザウィルス [3] |
| D | ・ 分離, 精製 | 39/15 | ・ ・ レオウィルス科, 例. 子牛の下痢ウィルス [3] |
| E | ・ 安定化 | 39/155 | ・ ・ パラミクソウィルス科, 例. パラインフルエンザウィルス [3] |
| F | ・ 装置 | 39/165 | ・ ・ ・ ムンプスまたは麻疹ウィルス [3] |
| G | ・ 製剤 | 39/17 | ・ ・ ・ ニューカッスル病ウィルス [3] |
| H | 原生動物, バクテリア, クラミジア, ウィルス以外の抗原 | 39/175 | ・ ・ ・ 犬のジステンパーウィルス [3] |
| J | ・ マイコプラズマ抗原 | 39/187 | ・ ・ 豚コレラウィルス [3] |
| K | ・ 真菌抗原 | 39/193 | ・ ・ 馬の脳脊髄炎ウィルス [3] |
| Z | その他のもの | 39/20 | ・ ・ 風疹ウィルス [2] |
| | | 39/205 | ・ ・ ラブドウィルス科, 例. 狂犬病ウィルス [3] |
| | | 39/21 | ・ ・ レトロウィルス科, 例. 馬伝染性貧血ウィルス [3] |
| | | 39/215 | ・ ・ コロナウィルス科, 例. ニワトリ伝染性気管支炎ウィルス [3] |
| | | 39/225 | ・ ・ ・ 豚传染性胃腸炎ウィルス [3] |
| | | 39/23 | ・ ・ パルボウィルス科, 例. 猫汎白血球減少症ウィルス [3] |
| | | 39/235 | ・ ・ アデノウィルス科 [3] |
| | | 39/245 | ・ ・ ヘルペスウィルス科, 例. 単純性ヘルペスウィルス [3] |
| | | 39/25 | ・ ・ ・ 水痘一帯状疱疹ウィルス [3] |
| | | 39/255 | ・ ・ ・ マレック病ウィルス [3] |
| | | 39/265 | ・ ・ ・ 伝染性気管支炎ウィルス [3] |
| | | 39/27 | ・ ・ ・ 馬の肺炎ウィルス [3] |
| | | 39/275 | ・ ・ ポックスウィルス科, 例. アビポックスウィルス [3] |
| | | 39/285 | ・ ・ ・ 種痘ウィルスまたは痘瘡ウィルス [3] |
| | | 39/29 | ・ ・ 肝炎ウィルス [3] |
| | | 39/295 | ・ ・ 多価ウィルス抗原 (種痘ウィルスまたは痘瘡ウィルス A61K39/285) ;ウィルス抗原とバクテリア抗原との多価抗原 [3] |
| | | 39/35 | ・ アレルゲン [3] |
| | | 39/36 | ・ ・ 花粉からのもの [2, 3] |
| | | 39/38 | ・ 蛇からの抗原 [2] |
| | | 39/385 | ・ 担体に結合したハプテンまたは抗原 [3] |

注

(1) 抗原あるいは抗体組成物の調製は, 微生物の培養工程に特徴がある場合, サブクラス C12N にも分類する。 [3]

注

(2) グループ 39/002 から 39/12 は, 原生動物, バクテリア, ウィルスまたはそれらのサブユニットを含む製剤, 例. 膜成分, を包含する。 [3]

| | |
|--------|----------------------------------|
| 39/002 | ・ 原生動物抗原 [3] |
| 39/005 | ・ ・ トリパノゾーマ抗原 [3] |
| 39/008 | ・ ・ リーシュマニア抗原 [3] |
| 39/012 | ・ ・ コクシジウム抗原 [3] |
| 39/015 | ・ ・ 住血胞子虫抗原, 例. プラズモジウム抗原 [3] |
| 39/018 | ・ ・ ・ バベシア抗原, 例. タイレリア抗原 [3] |
| 39/02 | ・ バクテリアの抗原 [2] |
| 39/04 | ・ ・ ミコバクテリウム属, 例. 結核菌 [2, 3] |
| 39/05 | ・ ・ コリネバクテリウム属;プロピオンバクテリウム属 [3] |
| 39/07 | ・ ・ 桿菌 [3] |
| 39/08 | ・ ・ クロストリジウム属, 例. 破傷風菌 [2] |
| 39/085 | ・ ・ ブドウ球菌 [3] |
| 39/09 | ・ ・ 連鎖球菌 [3] |
| 39/095 | ・ ・ ナイセリア属 [3] |
| 39/10 | ・ ・ ブルセラ属;ボルデテラ属, 例. 百日咳菌 [2, 3] |

A 6 1 K

| | | | |
|--------|--|-------|--|
| 39/39 | ・免疫促進付加物によって特徴づけられたもの, 例. 化学的アジュバント[3] | 47/04 | ・・非金属元素;その化合物[5] |
| 39/395 | ・抗体(凝集素 A61K38/36);免疫グロブリン;免疫血清, 例. 抗リンパ球血清[3] | 47/06 | ・有機物質, 例. 天然または合成の炭化水素, ポリオレフィン, 鉱油, ペトロラタムまたはオゾケライト[5] |
| A | 抗体[モノクローナル抗体を除く] | 47/08 | ・・酸素を含有するもの[5] |
| B | ・製法 | 47/10 | ・・・アルコール;フェノール;それらの塩, 例. グリセリン;ポリエチレングリコール[PEG];ポロキサマー;PEG/POEアルキルエーテル[2017. 01] |
| C | ・ミサイル技術 | 47/12 | ・・・カルボン酸;その塩または無水物[2006. 01] |
| D | ・特定物質に対するもの | 47/14 | ・・・カルボン酸のエステル, 例. 脂肪酸モノグリセリド, 中鎖トリグリセリド, パラベンまたは PEG 脂肪酸エステル[2017. 01] |
| E | ・・癌に対するもの | 47/16 | ・・窒素を含有するもの[2006. 01] |
| F | ・・インターフェロンに対するもの | 47/18 | ・・・アミン;アミド;尿素;第四級アンモニウム化合物;アミノ酸;5 個までのアミノ酸を有するオリゴペプチド[2017. 01] |
| G | ・・リンパ球に対するもの | 47/20 | ・・硫黄を含有するもの, 例. ジメチルスルホキシド[DMSO], ドクサート, ラウリル硫酸ナトリウムまたはアミノスルホン酸[2006. 01] |
| H | モノクローナル抗体 | 47/22 | ・・複素環式化合物, 例. アスコルビン酸, トコフェロールまたはピロリドン[2006. 01] |
| J | ・製法[培養, 細胞等] | 47/24 | ・・炭素, 水素, 酸素, ハロゲン, 窒素または硫黄以外の原子を含有するもの, 例. シクロメチコンまたはリン脂質[2006. 01] |
| K | ・精製 | 47/26 | ・・炭水化物, 例. 糖アルコール, アミノ糖, 核酸, 単糖, 二糖またはオリゴ糖;その誘導体, 例. ポリソルベート, ソルビタン脂肪酸エステルまたはグリチルリチン[2006. 01] |
| L | ・ミサイル技術 | 47/28 | ・・ステロイド, 例. コレステロール, 胆汁酸またはグリチルレチン酸[2006. 01] |
| M | ・医薬, 製剤, 安定化 | 47/30 | ・高分子有機化合物または高分子無機化合物, 例. 無機ポリリン酸[2006. 01] |
| N | ・特定物質に対するもの | 47/32 | ・・炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる高分子化合物, 例. カルボマー[2006. 01] |
| P | ・・酵素, 酵素インヒビターに対するもの | 47/34 | ・・炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物, 例. ポリエステル, ポリアミノ酸, ポリシロキサン, ポリホスファゼン, ポリアルキレングリコールの共重合体またはポロキサマーの共重合体(A61K47/10 が優先)[2017. 01] |
| Q | ・・微生物に対するもの[原虫] | 47/36 | ・・多糖類;その誘導体, 例. ガム, でんぷん, アルギン酸, デキストリン, ヒアルロン酸, キトサン, イヌリン, 寒天またはペクチン[2006. 01] |
| R | ・・・細菌, カビに対するもの | 47/38 | ・・・セルロース;その誘導体[2006. 01] |
| S | ・・・ウイルスに対するもの | | |
| T | ・・癌に対するもの | | |
| U | ・・免疫調節因子に対するもの | | |
| V | 免疫グロブリン | | |
| W | ・処理[静脈投与用], 安定化 | | |
| X | ・分離, 精製 | | |
| Y | ・医薬用途, 配合剤, 製剤[ミサイル] | | |
| Z | その他のもの | | |
| 39/40 | ・・細菌性なもの[2, 3] | | |
| 39/42 | ・・ウイルス性なもの[2, 3] | | |
| 39/44 | ・・担体に結合した抗体[2, 3] | | |
| 41/00 | 波動エネルギーまたは粒子線で物質を処理することによって得られる医薬品製剤[2020. 01] | | |
| 41/10 | ・動物またはヒトへの投与前の医薬品製剤の不活性化または汚染除去[2020. 01] | | |
| 41/13 | ・・超音波によるもの[2020. 01] | | |
| 41/17 | ・・紫外光[UV]または赤外光[IR], X線またはガンマ線によるもの[2020. 01] | | |
| 45/00 | A61K31/00-A61K41/00 に属さない活性成分を含有する医薬品製剤[2, 6] | | |
| 101 | ・細胞内皮系を刺激する免疫学的製剤, 例. ガンに対するもの(H11.5 新設) | | |
| 45/06 | ・化学的特性をもたない活性成分の混合物, 例. 消炎剤および強心剤[2] | | |
| 45/08 | ・活性物質と化学的に特徴のない補助物質, 例. 抗ヒスタミン剤および表面活性物質, との混合物[2] | | |
| 47/00 | 使用する不活性成分, 例. 担体または不活性添加剤, に特徴のある医薬品製剤;活性成分と化学結合した標的剤または修飾剤[2] | | |
| 47/02 | ・無機物質[5] | | |

| | | | |
|-------|---|-------|--|
| 47/40 | ・ ・ ・ シクロデキストリン;その誘導体 [2006. 01] | 47/62 | ・ ・ ・ 修飾剤が蛋白質, ペプチドまたはポリ アミノ酸であるもの[2017. 01] |
| 47/42 | ・ ・ 蛋白質;ポリペプチド;それらの分解生 成物;それらの誘導体, 例. アルブミン, ゼ ラチンまたはゼイン (5 個までのアミノ 酸を有するオリゴペプチドA61K47/18;ポ リアミノ酸 A61K47/34) [2017. 01] | 47/64 | ・ ・ ・ ・ 医薬とペプチドの結合体, 医薬と蛋 白質の結合体または医薬とポリアミノ酸 の結合体, すなわち, 修飾剤が治療的活性 剤に共有結合または複合体化したペプチ ド, 蛋白質またはポリアミノ酸であるも の (ペプチド性のリンカーA61K47/65) [2017. 01] |
| 47/44 | ・ A61K47/02-A61K47/42 の 2 以上のグルー プに該当する油, 脂肪またはワックス;天 然の油または変性された天然の油, 脂肪 またはワックス, 例. ヒマシ油, ポリエト キシ化ヒマシ油, モンタンワックス, リグ ナイト, シェラック, ロジン, 蜜蝋または ラノリン (合成グリセリド, 例. 中鎖トリ グリセリド A61K47/14) [2017. 01] | 47/65 | ・ ・ ・ ・ ペプチド性のリンカー, 連結剤, ス ペーサー, 例. 酵素に不安定なペプチド性 のリンカー[2017. 01] |
| 47/46 | ・ 構造不明の成分またはその反応生成物, 例. 皮膚, 骨, 乳, 木綿繊維, 卵殻, 雄牛の胆 汁または植物抽出物[2006. 01] | 47/66 | ・ ・ ・ ・ 修飾剤が特定の細胞を標的にする ためにペプチドまたは蛋白質が関与する プレターゲットングシステムであるもの [2017. 01] |
| 47/50 | ・ 活性成分と化学結合した不活性成分, 例. 重合体医薬結合体[2017. 01] | 47/68 | ・ ・ ・ 修飾剤が抗体, 免疫グロブリンまたは それらの断片であるもの, 例. Fc 断片 [2017. 01] |
| 47/51 | ・ ・ 不活性成分が修飾剤であるもの [2017. 01] | 47/69 | ・ ・ 結合体が物理的形態またはガレヌス形 態に特徴を有するものであるもの, 例. エ マルジョン, 粒子, 包接複合体, ステント またはキット[2017. 01] |
| 47/52 | ・ ・ ・ 修飾剤が無機物質であるもの, 例. 活 性成分と複合体化された無機イオン [2017. 01] | 48/00 | 遺伝子疾病を治療するために生体の細胞内 に挿入する遺伝子物質を含有する医療用 製剤;遺伝子治療[5] |
| 47/54 | ・ ・ ・ 修飾剤が有機化合物であるもの [2017. 01] | 49/00 | 生体内試験のための製剤[3] |
| 47/55 | ・ ・ ・ ・ 修飾剤が薬理学的または治療的に 活性剤でもあるもの, すなわち, 結合体の 全部がコドラッグであるもの, すなわち, 薬理学的または治療的に活性化化合物の 二量体, オリゴマーまたはポリマー [2017. 01] | 49/04 | ・ X 線造影剤[3] |
| 47/56 | ・ ・ ・ 修飾剤が有機高分子化合物であるも の, 例. オリゴマー, ポリマーまたはデン ドリマー[2017. 01] | 100 | ・ ・ 硫酸バリウムを含むもの |
| 47/58 | ・ ・ ・ ・ 炭素-炭素不飽和結合のみが関与 する反応によって得られるもの, 例. ポリ (メタ)アクリレート, ポリアクリルアミ ド, ポリスチレン, ポリビニルピロリドン, ポリビニルアルコールまたはポリスチレ ンスルホン酸樹脂[2017. 01] | 200 | ・ ・ ハロゲン含有化合物 |
| 47/59 | ・ ・ ・ ・ 炭素-炭素不飽和結合のみが関与 する反応以外の反応によって得られるも の, 例. ポリ尿素またはポリウレタン [2017. 01] | 210 | ・ ・ ・ ・ ヨウ素含有化合物 |
| 47/60 | ・ ・ ・ ・ ・ 有機高分子化合物がポリオキシ アルキレンのオリゴマー, ポリマーまた はデンドリマーであるもの, 例. PEG, PPG, PEOまたはポリグリセロール [2017. 01] | 49/06 | ・ 核磁気共鳴[NMR]造影剤;磁気共鳴映像法 [MRI]造影剤[2006. 01] |
| 47/61 | ・ ・ ・ ・ 有機高分子化合物が多糖体または その誘導体であるもの[2017. 01] | 49/08 | ・ ・ 担体に特徴があるもの[7] |
| | | 49/10 | ・ ・ ・ 有機化合物[7] |
| | | 49/12 | ・ ・ ・ ・ 高分子化合物[7] |
| | | 49/14 | ・ ・ ・ ・ ペプチド, 例. 蛋白質[7] |
| | | 49/16 | ・ ・ ・ ・ ・ 抗体;免疫グロブリン;その断片 [7] |
| | | 49/18 | ・ ・ 特別な物理的形態に特徴があるもの, 例. エマルジョン, マイクロカプセル, リ ポソーム[7] |
| | | 49/20 | ・ ・ フリーラジカルを含むもの[7] |
| | | 49/22 | ・ エコーグラフ用製剤;超音波映像用製剤 [7] |
| | | 50/00 | 生体内での治療または検査で使用する導電 剤, 例. 心電計[ECG]または経皮薬投与の ために電極と共に使用される導電性接着 剤またはゲル[2006. 01] |
| | | 100 | ・ 治療用途[展開記号のない A61K50/00 の付 与禁止] |
| | | 200 | ・ 診断用途[展開記号のない A61K50/00 の付 与禁止] |

A 6 1 K

- 51/00 生体内での治療または検査に用いる放射性物質を含有する製剤[2006.01]
- 100 ・治療に用いるもの[展開記号のない A61K51/00 の付与禁止]
- 200 ・検査に用いるもの[展開記号のない A61K51/00 の付与禁止]

注

このグループにおいては、グループ 101/00-103/00 のインデキシングコードを付加することが望ましい。[6]

- 51/02 ・担体に特徴のあるもの[2006.01]
- 100 ・・治療に用いるもの[展開記号のない A61K51/02 の付与禁止]
- 200 ・・検査に用いるもの[展開記号のない A61K51/02 の付与禁止]
- 51/04 ・・有機化合物[2006.01]
- 100 ・・・治療に用いるもの[展開記号のない A61K51/04 の付与禁止]
- 200 ・・・検査に用いるもの[展開記号のない A61K51/04 の付与禁止]
- 300 ・・・糖、ヌクレオシド、ヌクレオチド、オリゴヌクレオチド、核酸[展開記号のない A61K51/04 の付与禁止]
- 310 ・・・・治療に用いるもの[展開記号のない A61K51/04 の付与禁止]
- 320 ・・・・検査に用いるもの[展開記号のない A61K51/04 の付与禁止]
- 51/06 ・・・高分子化合物[2006.01]
- 100 ・・・・治療に用いるもの[展開記号のない A61K51/06 の付与禁止]
- 200 ・・・・検査に用いるもの[展開記号のない A61K51/06 の付与禁止]
- 51/08 ・・・ペプチド、例. 蛋白質[2006.01]
- 100 ・・・・治療に用いるもの[展開記号のない A61K51/08 の付与禁止]
- 200 ・・・・検査に用いるもの[展開記号のない A61K51/08 の付与禁止]
- 51/10 ・・・・抗体または免疫グロブリン;それらのフラグメント[2006.01]
- 100 ・・・・・治療に用いるもの[展開記号のない A61K51/10 の付与禁止]
- 200 ・・・・・検査に用いるもの[展開記号のない A61K51/10 の付与禁止]
- 51/12 ・特別の物理的形態に特徴のあるもの、例. 乳濁液、マイクロカプセル、リボソーム[2006.01]
- 100 ・・治療に用いるもの[展開記号のない A61K51/12 の付与禁止]
- 200 ・・検査に用いるもの[展開記号のない A61K51/12 の付与禁止]

- 101:00 放射性非金属[6]
- 101:02 ・ハロゲン[6]
- 103:00 放射性金属[6]
- 103:10 ・テクネチウム;レニウム[6]
- 103:20 ・インジウム[6]
- 103:30 ・希土類元素[6]
- 103:32 ・・イットリウム[6]
- 103:34 ・・ガドリニウム[6]
- 103:36 ・・イッテルビウム[6]
- 103:40 ・アクチニド[6]

医薬活性を有する植物の各部位に関し、グループ 36/00 と関連するインデキシング系列[8]

- 125:00 根、球根、塊茎、球茎または地下茎を含有するものまたはこれから得られるもの[8]
- 127:00 葉を含有するものまたはこれから得られるもの[8]
- 129:00 樹皮を含有するものまたはこれから得られるもの[8]
- 131:00 種子、木の実、果実または穀物を含有するものまたはこれから得られるもの[8]
- 133:00 花を含有するものまたはこれから得られるもの[8]
- 135:00 茎、柄、枝、小枝または新芽を含有するものまたはこれから得られるもの[8]

放射性物質の性質または活性に関し、グループ 51/00 と関連するインデキシング系列[6]